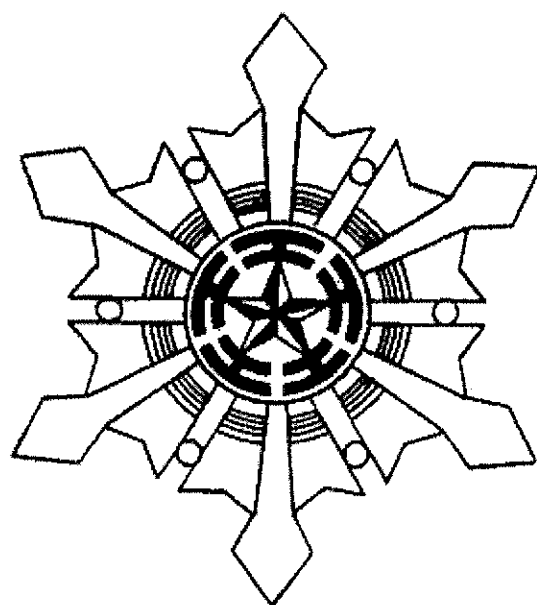


消防年報

平成28年版



江別市消防本部

市 章

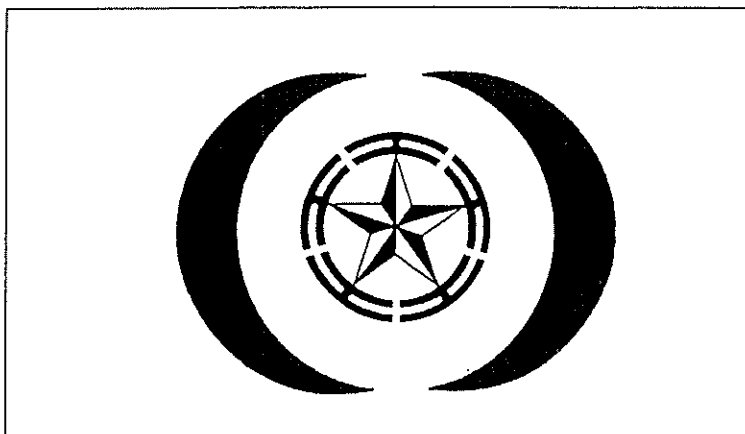


中央の星は、江別開拓の礎となった屯田兵をあらわし、これを囲む円は月をかたちどり、朝に星をいただき出て、夕べに月を仰いで帰る、勤労の精神を意味しています。

また、周囲のエは江別の頭文字であり、市民の一致協和をあらわしています。

市 章 制 定 大正13年10月24日

市 旗



市の紋章は、先人の伝統を意味し、これを囲む模様は、市民を意味するとともに、紋章を囲む円の広がり、未来に向かって飛躍する無限性をあらわしています。

市 旗 制 定 昭和43年 5 月25日

は し が き

この年報は、平成２８年中の江別市の災害、救急統計に基づく災害活動と平成２９年１月１日現在の消防諸般の現勢を明らかにし、将来の消防体制の強化と火災予防活動上の参考として収録したものであります。

平成２９年１月

江別市消防本部

目 次

* 庶 務 編

市勢概要	1
署所配置図	2
消防庁舎の概要	2
消防現勢総括表	3
平成28年度経常・臨時別分析表	4
平成28年度当初消防費予算（歳出）	4
消防機構図	5
消防職員配置状況	6
消防職員階級別年齢状況	6
消防職員階級別勤続年数状況	6
消防吏員各種資格取得状況	7
消防職員教育状況	8

* 予 防 編

危険物施設状況	9
危険物施設の許可・承認状況	9
建築物確認申請消防同意処理状況	10
政令対象物施設状況・防火管理者選任状況	11
階層別・業態別棟数表	12
各種届出状況	13
民間防火組織等状況	14
火災予防各種行事实施状況	15

* 警 防 編

消防自動車等の現勢	16
消防水利設置状況	17
市街地・準市街地等における消防水利の設置状況	17
主な消防用機械器具等保有状況	18
高機能消防指令センターシステム構成図	19

* 災害等総括編

月別災害等受付状況	20
過去3か年災害受付状況	20
月別災害等出動状況	21
過去5か年災害等発生及び出動状況	21
月別警戒等出動状況	22
地区別警戒等出動状況	22
月別救急支援出動状況	23
地区別救急支援出動状況	23
北海道広域消防相互応援協定に基づく出動状況	24
航空隊応援要請状況	24

***火 災 編**

火災発生状況	2 5
平成28年月別火災状況	2 6
図1 月別火災出火数	2 7
図2 出火原因別件数と火災損害額	2 7
過去3か年原因別火災発生状況	2 8
用途別火災原因調査	2 9
火災覚知別状況	3 0
曜日別・出火時間火災状況	3 0

***救 助 編**

月別救助出動状況	3 1
過去5か年救助出動状況	3 1
地区別救助出動状況	3 2
発生場所別救助出動状況	3 2

***救 急 編**

救急活動	3 3
月別救急出場状況	3 3
過去5か年救急出場状況	3 3
曜日別救急出場状況	3 4
時間別救急出場状況	3 4
地区別救急出場状況	3 5
高速自動車道救急出場状況	3 5
年齢別救急搬送人員調	3 6
年齢別傷病程度別搬送人員調	3 6
医療機関別傷病者搬送状況	3 6
救急隊員の行った応急処置件数	3 7
応急手当普及講習会の開催状況	3 8

***消 防 団 編**

消防団員数状況	3 9
消防団員階級別勤続年数状況	3 9
消防団員研修派遣状況	3 9
消防団員階級別年齢状況	4 0
消防団員出動状況	4 0

***消防の沿革**

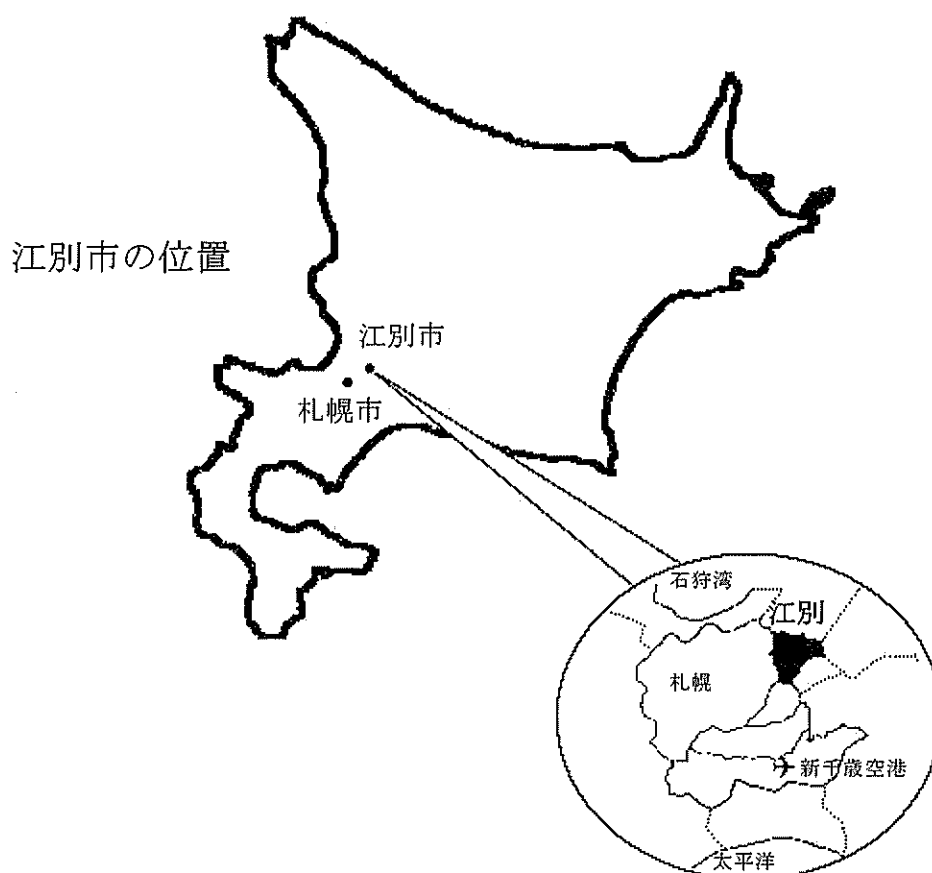
江別消防のあゆみと主な災害等	4 1～5 5
----------------	---------

編 務 庶



消 防 本 部 庁 舎

市 勢 概 要



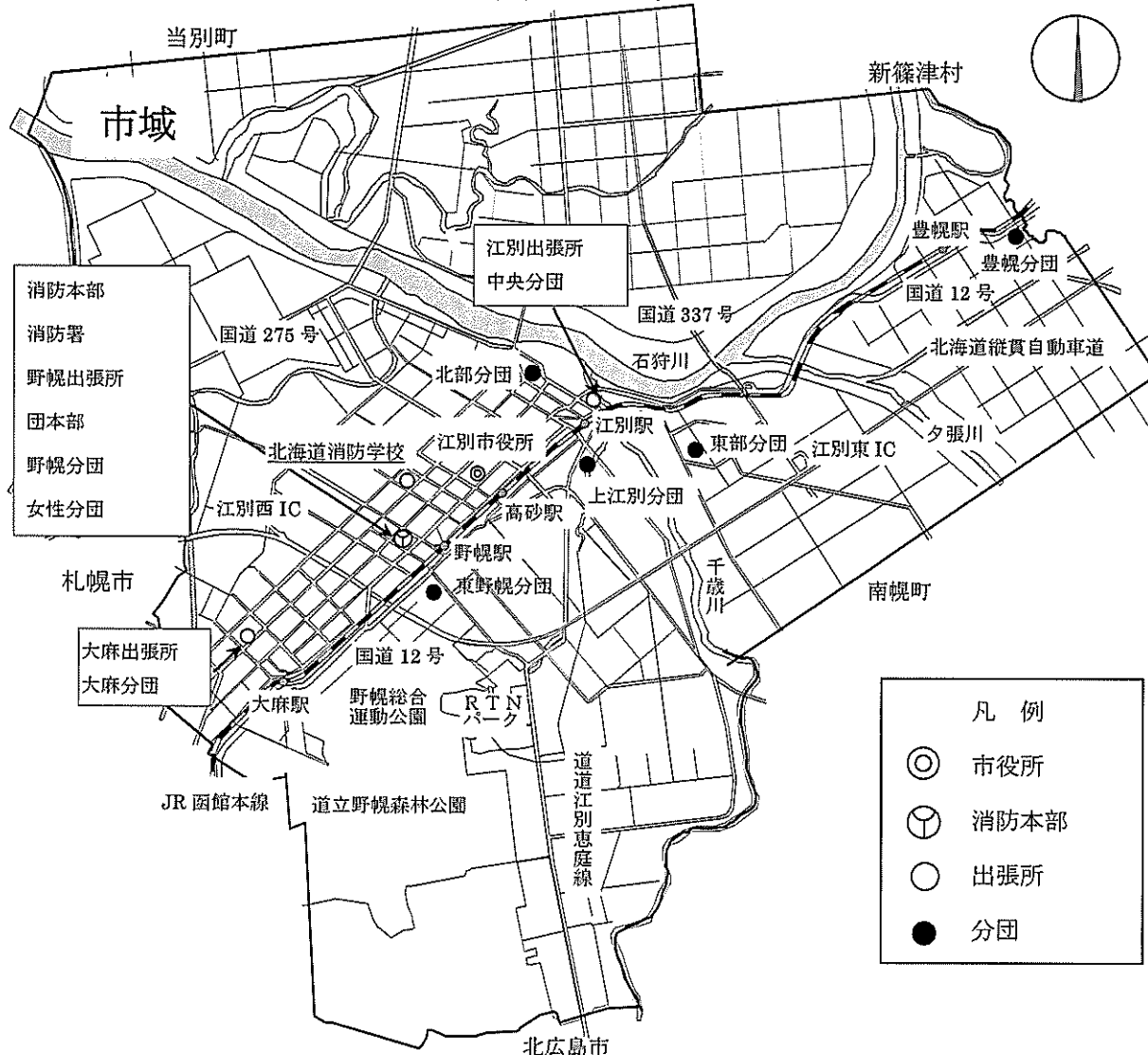
江別市は、石狩平野の中央部に位置し、東西約 17.3 km、南北 18.1km、総面積は 187.38 km²を有しています。地形は南端部の標高 93.0mが最高で、最低の湿地帯は北東 2.5mと全般的に平坦な地勢を形成しています。主流石狩川が市の北東部から北西部へと市域を貫流し、各支流河川と合流しています。南西の高台から北に連なる一連の火山灰埴土地帯は、肥沃な水田酪農地帯から市街地形成が進み、人口の集積地域として著しい発展を示しております。

- ◆ 位 置 (極東) 東経 141° 40' 20" (極西) 東経 141° 26' 52"
(極南) 北緯 43° 00' 52" (極北) 北緯 43° 10' 13"
- ◆ 面 積 187.38 km²
- ◆ 人 口 119,250人 (住民基本台帳人口) 平成28年10月1日現在
男 56,604人 女 62,646人
- ◆ 世 帯 数 56,047世帯
- ◆ 気 象 (平成28年) 観測地点：江別地域気象観測所=アメダスより
平均気温 7.5℃ 最高気温 31.9℃ 最低気温 -20.4℃
総降水量 1177.0mm
平均風速 3.4m/秒 最大風速 15.9m/秒

- ◆ インターネットホームページ

江別市のホームページ (<https://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/>) から江別の消防のページへお入りください。

署 所 配 置 図



消 防 庁 舎 の 概 要

名 称	所 在 地	構 造	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	建築延面積 (㎡)	建築年次
消 防 本 部 ・ 署 (消 防 団 本 部)	野幌代々木町80番地の8	鉄筋コンクリート3階建 (一 部 4 階)	5,461.81	1,235.00	3,554.00	平成4年
江 別 出 張 所 (中 央 分 団)	3 条 1 丁 目 1 番 地	鉄 骨 造 2 階 建	889.25	334.75	516.75	昭和59年
野 幌 出 張 所 (野 幌 分 団)	消 防 本 部 庁 舎 内					平成4年
大 麻 出 張 所 (大 麻 分 団)	大麻元町192番地の3	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 一 部 2 階 建	3,066.70	465.35	615.09	平成8年
北 部 分 団	緑町東2丁目55番地の2	木造モルタル2階建	303.64	63.18	124.74	昭和46年
上 江 別 分 団	上江別南町1番地の25	木造モルタル平屋建	417.39	78.57	78.57	昭和46年
東 野 幌 分 団	野幌若葉町7番地の3	木造ガルバリウム2階建	337.70	121.50	130.68	平成24年
豊 幌 分 団	豊幌686番地の10	鉄 骨 造 平 屋 建	3,000.02	99.81	99.81	平成12年
東 部 分 団	朝日町8番地の81	木造モルタル2階建	441.05	87.48	174.96	昭和53年
女 性 分 団	消 防 本 部 庁 舎 内					平成4年

消 防 現 勢 総 括 表

消 防 本 部			1 本部	消 防 団		1 団
消 防 署			1 署	分 団 数		9分団
出 張 所			3出張所	消防団員	定 数	200 人
当初予算	一 般 会 計		46,450,000千円		実 員 数	192 人
	消 防 費		1,177,980千円	非常備消防車両	ポ ン プ 車	6 台
消防職員	比 率		2.5 .%		小型動力ポンプ付 積 載 車	2 台
	警 防 要 員		92 人		小型動力ポンプ 積 載 車	1 台
	救 急 要 員		24 人		連 絡 車	1 台
	予 防 要 員		7 人		小型動力ポンプ	11 台
	小 計		123 人		※ 自衛消防隊の車両については非常備 消防車両に含めた。	
	その他の要員		7 人			
	合計（実員数）		130 人			
	定 数		130 人			
常備消防車両	ポ自 ン動 プ車	水 槽 車	4 台			
	はしご自動車		1 台			
	化 学 自 動 車		1 台			
	救 急 自 動 車		4 台			
	指 揮 車		1 台			
	大 型 水 槽 車		1 台			
	災害情報支援車		1 台			
	救 助 工 作 車		1 台			
	広 報 車		1 台			
	災 害 支 援 車		1 台			
連 絡 車		2 台				
小型動力ポンプ 積 載 車		3 台				

平成28年度 経常・臨時分析表

(単位：千円)

予算総額	経常経費			臨時経費		
	予算額	特定財源	一般財源	予算額	特定財源	一般財源
1,177,980	1,075,456	6,213	1,069,243	102,524	89,200	13,324

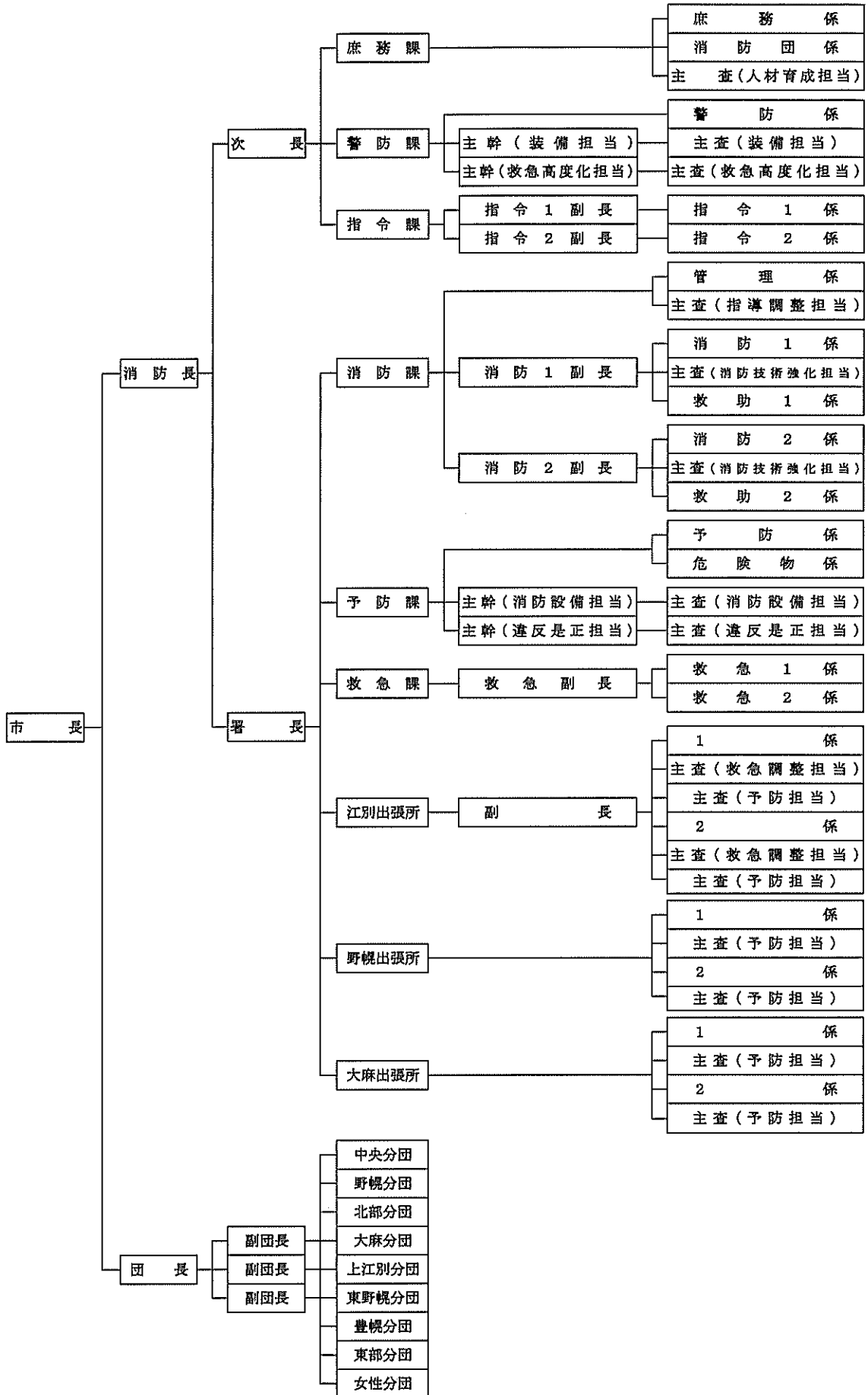
平成28年度 当初消防費予算（歳出）

(単位：千円)

目	本年度	前年度	比較	本年度の財源内容		節	
				特定	一般	区分	金額
消 防 費	253,472	282,073	△ 28,601	94,371	159,101		
常 備 消防費	213,040	243,883	△ 30,843	使用料及び 手 数 料 58 諸 収 入 17,113 市 債 69,900 計 87,071	125,969	報 酬 報 償 費 4,389 費 590 旅 費 2,661 交 際 費 30 需 用 費 56,940 役 務 費 11,249 委 託 料 40,732 使 用 料 及 び 賃 借 料 1,695 工 事 請 負 費 7,000 原 材 料 費 190 備 品 購 入 費 78,805 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金 8,759	
非常備 消防費	31,264	28,932	2,332		31,264	報 酬 6,511 報 償 費 273 旅 費 12,118 交 際 費 30 需 用 費 5,373 役 務 費 503 委 託 料 57 使 用 料 及 び 賃 借 料 547 原 材 料 費 11 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金 5,841	
消 防 施設費	9,168	9,258	△ 90	市 債 7,300	1,868	需 用 費 980 工 事 請 負 費 6,578 原 材 料 費 1,610	

※ 職員給与費含まず

消防機構図



消防職員配置状況

(人)

階級 部署		合 計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他
本 部	消防長	1	1							
	次 長	1		1						
	庶務課	6			1	2	1			2
	警防課	8			3	3	2			
	指令課	9			3	2	4			
	本部付									
計		25	1	1	7	7	7			2
消 防 署	署 長	1		1						
	消防課	25			3	8	11		3	
	予防課	13			3	4	5		1	
	救急課	15			2	2	11			
	江別出張所	23			2	5	9	1	6	
	野幌出張所	13			1	3	5		4	
	大森出張所	15			1	3	5	2	4	
計		105		1	12	25	46	3	18	
合 計		130	1	2	19	32	53	3	18	2

消防職員階級別年齢状況

(人)

階級 年齢	合 計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他
18歳～20歳	2							2	
21歳～25歳	17						1	16	
26歳～30歳	17					15	2		
31歳～35歳	15					15			
36歳～40歳	15				1	13			1
41歳～45歳	24			1	15	8			
46歳～50歳	11			3	6	1			1
51歳～55歳	10			7	3				
56歳～60歳	19	1	2	8	7	1			
合 計	130	1	2	19	32	53	3	18	2

※ 平均年齢 40.0歳

消防職員階級別勤続年状況

(人)

階級 年数	合 計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他
5 年 未 満	23					3	2	16	2
5年以上10年未満	22					19	1	2	
10年以上15年未満	9				1	8			
15年以上20年未満	19				5	14			
20年以上25年未満	15			2	8	5			
25年以上30年未満	13			2	8	3			
30 年 以 上	29	1	2	15	10	1			
合 計	130	1	2	19	32	53	3	18	2

※ 平均勤続年数 19.1年

消防吏員各種資格取得状況

(人)

免 許 資 格			階 級	合 計	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
自動車運転免許	普 通			18					2	2	14
	中 型			10		1	3	2	4		
	大 型			102	1	1	16	31	48	1	4
救 急 救 命 士				30		1	5	5	16		3
小 型 船 舶 操 縦		一 級		1			1				
		二 級		33			7	14	12		
陸上特殊無線技士		二 級		46		1	8	15	22		
		三 級		2			1	1			
予 防 技 術 資 格 者		防火査察		30			7	13	10		
		消防設備		12			6	6			
		危険物		7			2	4	1		
技能講習	小 型 移 動 式 ク レ ー ン			29	1		5	10	13		
	玉 掛 技 能			30	1		5	10	14		
	酸欠危険作業主任者	酸素欠乏		31	1		8	12	10		
		硫化水素		29	1		8	11	9		
	足 場 組 立 作 業 主 任 者			10			4	4	2		
特別教育	ア ー ク 溶 接			21	1	1	4	9	6		
	高圧・特別高圧電気取扱			3					3		
	低 圧 電 気 取 扱			4					3		1
	大 径 木 伐 木 等 作 業			14			4	2	7	1	
	小 径 木 伐 木 等 作 業			1							1
	巻 上 げ 機 (ウインチ)			7				1	4	1	1
衛 生 管 理 者				12			1	7	4		
消 防 設 備 士		甲 種		0							
		乙 種		11			2	4	5		
危 険 物 取 扱 者		甲 種		2				1	1		
		乙 種		46		1	6	17	20		2
		丙 種		9			2	5	2		

消 防 職 員 教 育 状 況

(人)

年 度		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
教 育 課 程												
消防 大学 校	総 合 教 育 (上 級 幹 部 科 ・ 幹 部 科)				1				2			
	実 務 講 習 (消防団活性化推進コース・女性活躍推進コース)									1	1	
北 海 道 消 防 学 校	初 任 教 育	4	5	5	4	4	2	6	5	3	5	
	専 科 教 育	警 防 科		1					1	1	1	2
		予 防 査 察 科		1	1		1		1	1	1	1
		危 険 物 科		1			1				1	1
		火 災 調 査 科	2	1	1	1		1			1	1
		救 急 科	2	2	2	2	3	3	3	4	4	4
		救 助 科	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2
	幹 部 教 育 幹 部 科				1			1			1	1
	特 別 教 育	消 防 ポ ン プ 操 法 指 導 員 課 程								1		1
		は し ご 自 動 車 運 用 課 程		2		1		1		2	2	1
		都 市 型 救 助 課 程										1
	道 M C 関 係	ビ デ オ 硬 性 喉 頭 鏡 講 習						2	2	4	2	2
		処 置 拡 大 2 行 為 講 習								4	4	4
	札 幌 市 消 防 学 校 等	救 急 救 命 士 養 成 課 程				1	1	1	1	1	1	1
		指 揮 隊 長 研 修						1		1		1
指 揮 隊 員 研 修									1			
行 政 機 関 研 修	市 町 村 職 員 中 央 研 修 所	1	2	2	2		3	1	1	2	1	
	北 海 道 市 町 村 職 員 研 修 セ ン タ ー	1		5	4		3	3	5	7	3	
	札 幌 広 域 圏 組 合 共 同 研 修		1	4	6	1	1					
合 計		11	17	22	23	12	21	19	34	32	33	

編 防 予



検 点 常 通



危険物施設状況

(施設数)

地区別 施設別		消防署			合計
		江別	野幌	大麻	
製造所					
貯蔵所	屋内貯蔵所	12	5	2	19
	屋外タンク貯蔵所	27	13	2	42
	屋内タンク貯蔵所	9	3	1	13
	地下タンク貯蔵所	69	67	45	181
	簡易タンク貯蔵所			1	1
	移動タンク貯蔵所	31	23	11	65
	屋外貯蔵所	2	2		4
取扱所	給油取扱所	15	17	4	36
	一般取扱所	28	24	13	65
	販売取扱所				
合計		193	154	79	426

危険物施設の許可・承認状況

(件)

許可承認別 施設別		設置		変更		完成 検査前 検査	仮使用	仮貯蔵・ 仮取扱	合計
		許可	完成	許可	完成				
製造所									
貯蔵所	屋内貯蔵所	1							1
	屋外タンク貯蔵所			1	1				2
	屋内タンク貯蔵所								
	地下タンク貯蔵所	1	1	1	1				4
	簡易タンク貯蔵所								
	移動タンク貯蔵所	5	5	5	5				20
	屋外貯蔵所								
取扱所	給油取扱所								
	一般取扱所								
	販売取扱所								
合計		7	6	7	7				27

建築物確認申請消防同意処理状況

(件)

項目		区分	合計	新築	増築	改築	その他	耐火	準耐火	その他
1	イ									
	ロ		1	1						1
2	イ									
	ロ									
	ハ									
	ニ									
3	イ									
	ロ		4	4				2		2
4			9	8	1			5		4
5	イ									
	ロ		23	23					2	21
6	イ		2	2						2
	ロ		5	1	3		1	3		2
	ハ		8	3	4		1	1		7
	ニ									
7			1		1			1		
8										
9	イ									
	ロ									
10										
11			1	1					1	
12	イ		8	5	3				4	4
	ロ									
13	イ									
	ロ									
14			1	1						1
15			5	5				1		4
16	イ		8	4	1		3	3	3	2
	ロ		4	4				1	2	1
17										
その他			44	44					1	43
昇降機										
計画通知			4	1	3			1	3	
小計			128	107	16		5	18	16	94
専用住宅			5	5					3	2
小計			5	5					3	2
合計			133	112	16		5	18	19	96

政令対象物施設状況・防火管理者選任状況

区 分 対 象 物			政 令 対象物	選任義務 対象物	選任済 対象物	消防計画 提出数
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	4	2	2	2
	ロ	公会堂、集会場	72	62	61	61
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類				
	ロ	遊技場、ダンスホール	7	6	6	6
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗の類				
	ニ	カラオケボックスその他遊興のために個室にて業務を営む店舗の類	2	2	2	2
3	イ	待合、料理店の類				
	ロ	飲食店	48	42	27	27
4		百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗又は展示場	106	68	59	58
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	9	3	3	3
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	1,876	65	63	62
6	イ	病院、診療所、助産所	51	13	13	13
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、介護老人保健施設、重症心身障害児施設等の類	35	30	29	29
	ハ	老人デイサービスセンター、保育所、児童養護施設、精神障害者社会復帰施設等の類	69	30	29	29
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	8	4	4	4
7		小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校の類	139	34	33	34
8		図書館、博物館、美術館の類	9	6	6	6
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類	1	1	1	1
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	5	4	4	4
10		車両の停車場、船舶又は航空機の発着場	2			
11		神社、寺院、教会の類	39	28	26	25
12	イ	工場、作業場	283	8	8	8
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ				
13	イ	自動車車庫、駐車場	38			
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫				
14		倉庫	257	5	5	5
15		前各項に該当しない事業場	248	43	39	39
16	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する複合用途防火対象物	161	119	111	110
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	113	38	37	37
16-2		地下街				
16-3		準地下街				
17		重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡等の建造物	1	1	1	1
18		延長50メートル以上のアーケード				
19		市町村長の指定する山林				
20		総務省令で定める舟車				
合 計			3,583	614	569	566

階 層 別 ・ 業 態 別 棟 数 表

階層別 業態別		総棟数	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階
1項	イ													
	ロ	1		1										
2項	イ													
	ロ													
	ハ													
	ニ													
3項	イ													
	ロ	3	2			1								
4 項														
5項	イ	1		1										
	ロ	292	150	83	12	5	10	3	13	12		1	2	1
6項	イ	7	4	1	2									
	ロ	5	2	3										
	ハ	1	1											
	ニ													
7 項		25	16	4	1			1	2		1			
8 項		2	2											
9項	イ													
	ロ													
10 項														
11 項														
12項	イ	8	3	2	2			1						
	ロ													
13項	イ													
	ロ													
14 項		2	1	1										
15 項		7	2	3	1	1								
16 項	イ	21	8	6	4				2	1				
	ロ	8	6	1		1								
合 計		383	197	106	22	8	10	5	17	13	1	1	2	1

各種届出状況

区 分	件 数	区 分	件 数
消 防 用 設 備 等 着 工 届	67	ストーブ・煙突取付清掃業届出書	
消 防 用 設 備 等 設 置 届	81	少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 届	87
防火対象物使用開始(内容変更)届	64	指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 届	5
防 火 管 理 者 選 任 (解 任) 届	164	水 張 水 圧 検 査 ・ 検 査 申 請	
防 災 管 理 者 選 任 (解 任) 届	6	圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス 等 貯 蔵 取 扱 届	7
消 防 計 画 作 成 (変 更) 届	201	集 合 煙 突 発 煙 試 験 申 請	
自 衛 消 防 組 織 設 置 (変 更) 届	4	ネ オ ン 管 灯 設 備 設 置 届	
燃 料 電 池 発 電 ・ 変 電 ・ 発 電 ・ 蓄 電 池 ・ 設 備 設 置 届	24	催 物 開 催 届	19
炉・厨房設備・ボイラー設置届	35	道 路 工 事 届 出 書	24
温 風 暖 房 機 設 置 届	1	劇 場 等 の 裸 火 使 用 ・ 危 険 物 持 ち 込 み 申 請 書	
給 湯 湯 沸 設 備 設 置 届	1	水 素 ガ ス を 充 填 す る 気 球 の 設 置 届	
サ ウ ナ 設 備 設 置 届		煙 火 打 上 げ ・ 仕 掛 け 届	38
ヒートポンプ冷暖房機設置届	1	火 災 と ま ぎ ら わ し い 煙 等 届 出 書	126
乾 燥 設 備 設 置 届	1	訓 練 現 地 指 導 願 い	499
消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告 書	1,532	消 防 設 備 業 届 出 書	6
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	63	液 体 燃 料 を 使 用 す る 設 備 ・ 器 具 取 付 点 検 整 備 業 届 出	
露 店 等 の 開 設 届 出 書	71	合 計	3,127

民間防火組織等状況

団 体 名	会員数
幸 町 少 年 防 火 ク ラ ブ	40
上江別自治連合会ジュニア消防クラブ	30
幸 町 女 性 防 火 ク ラ ブ	100
上江別第一自治会女性防火部	466
大麻幼稚園幼年消防クラブ	183
江別市あかしや保育園幼年消防クラブ	83
江別市つくし保育園幼年消防クラブ	46
江別市東光保育園幼年消防クラブ	65
江別市やよい保育園幼年消防クラブ	120
あすかの森認定こども園幼年消防クラブ	86
第2大麻幼稚園幼年消防クラブ	178
北光保育園幼年消防クラブ	36
江別大谷幼稚園幼年消防クラブ	91
認定こども園 若葉幼稚園幼年消防クラブ	58
江別あかしや幼稚園幼年消防クラブ	125
愛 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	139
わ か ば 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	100
誠 染 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	69
上江別幼稚園幼年消防クラブ	246

団 体 名	会員数
認定こども園あけぼの あけぼの幼稚園 のびのび保育園幼年消防クラブ	175
江別市よつば保育園幼年消防クラブ 〔旧江別市白樺保育園幼年消防クラブ 旧江別市若草乳児保育園幼年消防クラブ〕	116
江別市防火管理者連絡協議会	165
江別市危険物安全協会	111
野幌森林自衛消防隊	18
江北地区自衛消防隊	67
25団体	2,913

火災予防各種行事実施状況

行 事 名	期 間	概 要
文化財防火デー	1月26日	消防訓練・防火査察 ～ 「江別市郷土資料館」にて通報・初期消火・避難誘導訓練を実施後に防火査察を実施
春の火災予防運動	4月20日 ～ 4月30日	火災予防啓発活動 ～ 「トンデンファーム」にて消防車両の展示、煙体験、住宅用火災警報器の実演等をはじめとしたイベントを開催 幼児等への防火・防災指導 ～ 江別市子育てひろば「ぼこ あ ぼこ」で消防職業体験を実施 幼年消防クラブ入団式 ～ 市内保育園・幼稚園の新入園児がクラブ員として入団 地域に密着した広報 ～ 女性消防団員による一人暮らし高齢者宅への防火訪問を実施 遊戯施設での文字広報 ～ 市内遊戯施設の電光掲示板を活用した文字広報を実施 掲示物広報 ～ 市内各所へ防火のぼり・垂幕・横断幕等を掲示
危険物安全週間	6月5日 ～ 6月11日	危険物安全週間研修会 ～ 危険物施設における震災時の対応について、知識の普及啓発を図るための研修会を開催 チラシ等の配布 ～ 市内事業所へリーフレット等を配布し、事故防止対策の徹底を啓発
消防フェスティバル	8月6日	消防フェスティバルの開催 ～ 「イオン江別店」にて消防車両の展示・放水体験・煙体験等をはじめとしたイベントを開催
秋の火災予防運動	10月15日 ～ 10月31日	防火研修会の開催 ～ 外部講師による市民向けの住宅防火研修会を開催 幼年消防クラブ結成式 ～ 江別市よつば保育園で新たな幼年消防クラブを結成し、防火訓練を実施 入団証の配布及び防火纏を寄贈 防火パンフレット全戸配布 ～ 高齢者向けカラー版防火パンフレットを全戸配布(3か年計画の3年目) 飲食店ビル等合同消防訓練 ～ 飲食店ビルの経営者・従業員を対象に訓練を実施 自衛消防研修会 ～ 江別市防火管理者連絡協議会及び江別市危険物安全協会の会員を対象に応急救護訓練を実施 移動タンク貯蔵所立入検査 ～ 江別警察署と合同で江別市農村環境改善センターで実施 地域に密着した広報 ～ 女性消防団員による一人暮らし高齢者宅への防火訪問を実施 遊戯施設での文字広報 ～ 市内遊戯施設の電光掲示板を活用した文字広報を実施 掲示物広報 ～ 市内各所へ防火のぼり・垂幕・横断幕等を掲示
歳末特別火災予防運動	12月20日 ～ 12月31日	幼児等への防火・防災指導 ～ 江別市子育てひろば「ぼこ あ ぼこ」で消防職業体験を実施 歳末特別査察 ～ 「ビッグハウス大路店」「ホームック元江別店」「イオンタウン江別」にて同時に実施 理美容組合による火災予防広報 ～ 市内43店舗の理容・美容店の協力により利用客へリーフレットを配布 防火慰問 ～ 幼年消防クラブ員による老人福祉施設の防火慰問 防火カレンダーの配布 ～ 防火カレンダーを作成し事業所・自治会集会場へ配布 学生による火災予防広報 ～ JR江別駅・高砂駅にて江別高校野球部員が広報物を配布 表示広報 ～ 消防庁舎にて防火イルミネーションを設置 掲示物広報 ～ 市内各所へ防火のぼり・垂幕・横断幕等を掲示
その他	随時	◆住宅用火災警報器設置推進関係◆ 市内の各種イベントにおける住宅防火展開催のほか、戸別訪問によりリーフレットやディッシュを配布 ◆火災予防広報◆ 災害案内ダイヤルの平常時案内を火災予防運動期間中のみ火災予防啓発用に変更 ◆防災講座の開催◆ 住宅防火対策の一環として、防災品の必要性や意識高揚を図るための市民向け講座を開催 ◆高齢者クラブを対象とした防火教室等の開催◆ 暮らしの中に潜む出火危険や対応方法に関する意識啓発のための教室を開催 ◆防火クラブを対象とした研修会等の開催◆ 消防に対する更なる理解と関心を深め、防火防災意識を啓発するために視察研修を開催 ◆小学生を対象とした「消防教室」の開催◆ 早期からの防火防災意識を啓発し、地域における次世代の防災リーダーを育成するための教室を開催

警 防 編



救助工作車

消防自動車等の現勢

配置	区分	呼称名	種 別	車 名	ポンプ形式 ポンプ級別	水槽車 積載水量 (ℓ)	導入年月日	備 考
消防本部 消防署		104号車	化 学 車	日野	2段タービン A-2	2,000	S63.03	Ⅳ型・化学消火剤1,600ℓ積載
		108号車	大 型 水 槽 車	日野		10,000	H9.12	
		109号車	水 槽 車	日野	2段タービン A-2	3,000	H11.12	Ⅱ型
		301号車	救 急 車	日産			H22.01	高規格救急自動車
		303号車	救 急 車	トヨタ			H23.11	高規格救急自動車
		305号車	救 急 車	日産			H15.01	高規格救急自動車
		502号車	は し ご 車	日野			H6.03	38m級直進式
		504号車	救 助 工 作 車	日野			H28.03	Ⅱ型
		604号車	災 害 情 報 支 援 車	トヨタ			H26.10	
		605号車	広 報 車	トヨタ			H26.10	
		606号車	連 絡 車	日産			H24.07	
		801号車	災 害 支 援 車	トヨタ			H10.09	
		指揮車	指 揮 車	日産			H5.02	
		連絡車	連 絡 車	ダイハツ			H23.02	
		小型7	可搬式小型動力ポンプ	芝浦	1段タービン B-2		H9.12	108号車に固定配管で積載
		小型9	可搬式小型動力ポンプ	芝浦	1段タービン B-2		H25.12	消防署に配置
江別出張所		105号車	水 槽 車	日野	1段ボリュート A-2	2,000	H27.01	Ⅱ型
		302号車	救 急 車	トヨタ			H25.04	高規格救急自動車
		703号車	小型動力ポンプ積載車	日産			H12.10	
野幌出張所		107号車	水 槽 車	日野	2段タービン A-2	2,000	H20.12	Ⅱ型
		705号車	小型動力ポンプ積載車	トヨタ			H13.09	
大麻出張所		103号車	水 槽 車	日野	2段タービン A-2	2,000	H21.08	Ⅱ型
		706号車	小型動力ポンプ積載車	トヨタ			H28.12	
		小型17	可搬式小型動力ポンプ	芝浦	1段タービン B-2		H28.12	706号車に積載
中 央 分 団		202号車	ポ ン プ 車	日野	2段タービン A-2		H7.02	CD-Ⅱ型
		小型14	可搬式小型動力ポンプ	芝浦	1段タービン B-3		H7.02	202号車に積載
野 幌 分 団		203号車	ポ ン プ 車	日野	2段タービン A-2		H25.12	CD-Ⅰ型
		小型6	可搬式小型動力ポンプ	芝浦	1段タービン B-2		H25.12	203号車に積載
大 麻 分 団		207号車	ポ ン プ 車	いすゞ	2段タービン A-1		H7.08	CD-Ⅰ型
		小型5	可搬式小型動力ポンプ	芝浦	1段タービン B-3		S54.09	207号車に積載
北 部 分 団		204号車	ポ ン プ 車	日野	2段タービン A-2		S58.10	CD-Ⅱ型
		小型4	可搬式小型動力ポンプ	芝浦	1段タービン B-3		S54.09	204号車に積載
上 江 別 分 団		704号車	小型動力ポンプ付積載車	三菱			H1.07	集中操作装置（小型動力ポンプ）
		小型8	可搬式小型動力ポンプ	芝浦	1段タービン B-2		S62.08	704号車に固定配管で積載
		小型13	可搬式小型動力ポンプ	芝浦	1段タービン B-3		S48.08	
東 野 幌 分 団		206号車	ポ ン プ 車	三菱	2段タービン A-2		H2.03	CD-Ⅰ型
		小型2	可搬式小型動力ポンプ	芝浦	1段タービン B-3		H13.09	206号車に積載
豊 幌 分 団		205号車	ポ ン プ 車	日野	2段タービン A-2		H27.03	CD-Ⅰ型
		小型1	可搬式小型動力ポンプ	トーハツ	1段タービン B-3		H12.10	
		小型12	可搬式小型動力ポンプ	トーハツ	1段タービン B-2		H27.08	
東 部 分 団		702号車	小型動力ポンプ付積載車	三菱			H2.07	集中操作装置（小型動力ポンプ）
		小型15	可搬式小型動力ポンプ	芝浦	1段タービン B-2		H2.07	702号車に固定配管で積載
女 性 分 団		608号車	連 絡 車	日産			H28.12	
自 衛 消防隊	江 北	701号車	小型動力ポンプ積載車	スズキ			H26.12	
		小型16	可搬式小型動力ポンプ	芝浦	1段タービン B-2		H26.12	701号車に積載

消 防 水 利 設 置 状 況

区分 地区別	消 火 栓		防 火 水 槽 等		緊急 貯水槽	計	40m³未満の 防火水槽等	
	公 設	私 設	公 設	私 設	公設		公 設	私 設
江 別 地 区	334	107	44	17	2	504	2	7
野 幌 地 区	246	5	36	33	2	322		4
大 麻 地 区	163	8	16	5	1	193	1	4
合 計	743	120	96	55	5	1,019	3	15
	863		151				18	

市街地・準市街地等における消防水利の設置状況

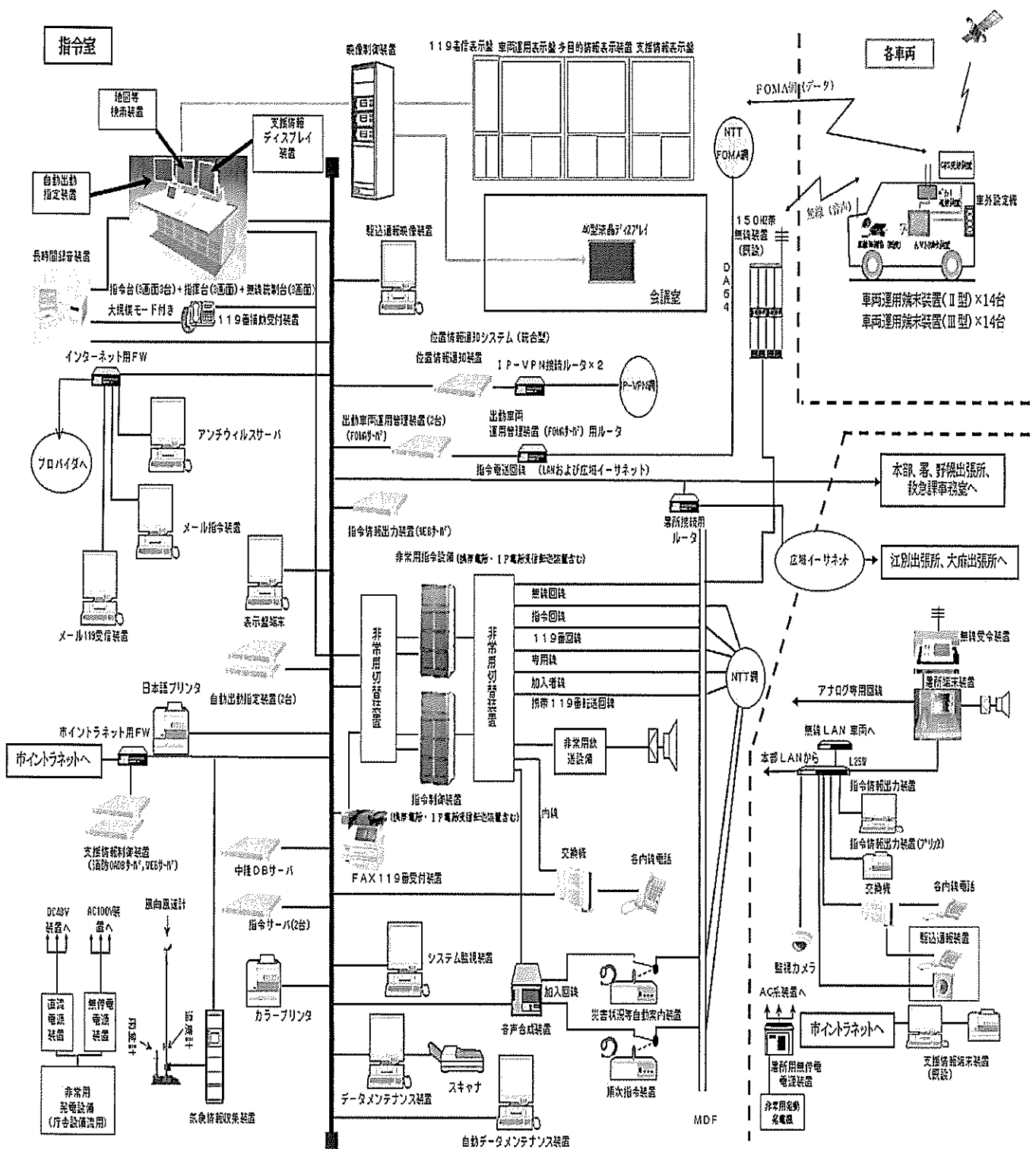
区分 地域別	消 火 栓		防 火 水 槽 等		緊急 貯水槽	計	40m³未満の 防火水槽等	
	公 設	私 設	公 設	私 設	公設		公 設	私 設
市 街 地	706	118	91	39	5	959	3	9
準 市 街 地	20		3			23		
その他の地域	17	2	2	16		37		6
合 計	743	120	96	55	5	1,019	3	15
	863		151				18	

主な消防用機械器具等保有状況

機器名	数量	機器名	数量
一般救助用器具		隊員保護用器具	
かぎ付はしご	7	耐電手袋	11
二連はしご	7	安全帯	5
三連はしご	5	携帯警報器	37
金属製折りたたみはしご又はワイヤはしご	1	防毒マスク	5
空気式救助マット	1	化学防護服	7
救命索発射銃	1	陽圧式化学防護服	2
サバイバースリング又は救助用縛帯	5	耐熱服	2
重量物排除用器具		放射線防護服	19
油圧ジャッキ	1	耐電衣	4
油圧スプレッダー	1	耐電ズボン	4
可搬ウィンチ	3	耐電長靴	4
マンホール救助器具	1	特殊ヘルメット	6
マット型空気ジャッキ式	1	検索用器具	
大型油圧スプレッダー	2	簡易画像探索機	1
救助用支柱器具	1	除染用器具	
切断用器具		除染シャワー	1
油圧切断機	2	除染剤散布器	1
エンジンカッター	7	水難救助用器具	
ガス溶断器	1	潜水器具一式	2
チェーンソー	5	流水救助器具一式	10
鉄線カッター	10	救命胴衣	249
空気鋸	1	水中投光器	3
大型油圧切断機	2	救命浮環	9
空気切断機	1	浮標	3
破壊用器具		救命ボート	3
万能斧	21	船外機	3
ハンマー	8	水中時計	2
携帯用コンクリート破壊器具	5	山岳救助用器具	
削岩機	1	バスケット担架	5
ハンマドリル	1	高度救助用器具	
検知・測定用器具		熱画像直視装置	1
可燃性ガス測定器	5	その他の救助用器具	
有毒ガス測定器	6	投光器一式	14
放射線測定器	6	携帯投光器	34
呼吸保護用器具		携帯拡声器	18
空気呼吸器	37	携帯無線機	59
空気補充用ボンベ	1	緩降機	1
酸素呼吸器	2	ロープ登降機	1
簡易呼吸器	2	救助用降下機	9
送排風機	2	発電機	11

機器名	数量
観察用資器材	
血圧計（組）	4
血中酸素飽和度測定器（台）	4
検眼ライト（本）	4
心電計（台）	4
体温計（台）	8
聴診器（台）	4
血糖値測定器（台）	4
呼吸・循環管理用資器材	
気道確保用資器材（組）	4
吸引器一式（組）	4
喉頭鏡（組）	4
酸素吸入器一式（組）	4
自動式人工呼吸器一式（組）	4
自動体外式除細動器（組）	4
手動式人工呼吸器一式（組）	8
マギール鉗子（組）	8
呼気二酸化炭素測定器具	4
自動式心マッサージ器（基）	2
ショックパンツ（組）	2
特定行為用資器材（組）	4
ビデオ硬性挿管用喉頭鏡（組）	4
創傷等保護用資器材	
固定用資器材（組）	4
創傷保護用資器材（組）	4
保温・搬送用資器材担架	
スクープストレッチャー（台）	4
担架（台）	4
バックボード（台）	4
通信用資器材	
心電図伝送等送受信機器（台）	1
救出用資器材	
万能斧（本）	3

高機能消防指令センター システム構成図



災 害 等 総 括 編



火 災 現 場 活 動 状 況

月 別 災 害 等 受 付 状 況

(件)

月 別	火 災	救 急	救 助	他の災害	問 合	通報訓練	悪 戯	間 違 い	そ の 他	転送	合 計
1月	6	315	7	37	40	69	1	21	271	2	769
2月	5	306	5	28	33	78		38	31	4	528
3月	4	321	6	42	32	76		18	83	7	589
4月	8	323	10	38	44	87		20	48	6	584
5月	22	348	7	46	51	145		34	41	6	700
6月	1	309	7	49	37	148	2	37	76	1	667
7月	4	402	7	37	49	109	1	19	22	1	651
8月	3	355	13	65	56	116	1	23	64	1	697
9月	2	363	6	31	26	141	1	27	69	1	667
10月	12	364	4	35	49	238		26	70	4	802
11月	1	359	7	34	38	110	1	28	123	1	702
12月	11	396	9	41	32	94		26	131	13	753
合 計	79	4,161	88	483	487	1,411	7	317	1,029	47	8,109
月平均	6.6	346.8	7.3	40.3	40.6	117.6	0.6	26.4	85.8	3.9	675.8
日平均	0.22	11.37	0.24	1.32	1.33	3.86	0.02	0.87	2.81	0.13	22.16

※ 本表は、119番通報（NTT回線、IP回線、携帯電話）、緊急通報装置、専用回線、一般加入電話、駆け込み、直接覚知、消防無線、FAX、Eメールによる災害等の通報受付件数を集計したものである。

過 去 3 か 年 災 害 受 付 状 況

(件)

	火 災	救 急	救 助	他の災害	問 合	通報訓練	悪 戯	間 違 い	そ の 他	転送	合 計
26年	68	4,097	104	347	634	547	6	412	992	40	7,247
27年	66	3,963	92	415	627	953	5	362	823	48	7,354
28年	79	4,161	88	483	487	1,411	7	317	1,029	47	8,109

月別災害等出動状況

(件)

種別 月別	火 災	救 急	救 助	警 戒	救急支援	風水害等 自然災害	計
1 月	2	353	11	17	28		411
2 月	4	339	6	12	31		392
3 月	1	358	5	14	33		411
4 月	4	362	8	10	37		421
5 月	3	380	10	24	30		447
6 月		341	9	21	37		408
7 月		415	8	20	22		465
8 月	1	396	13	28	23	16	477
9 月	3	380	4	17	26		430
10 月	5	403	5	17	31		461
11 月	1	376	5	16	28		426
12 月	8	434	11	20	45		518
計	32	4,537	95	216	371	16	5,267

過去5か年災害別出動状況

(件)

種別 年別	火 災	救 急	救 助	警 戒	救急支援	風水害等 自然災害	計
平成24年	36	4,136	88	193	400	10	4,863
平成25年	42	4,497	96	195	356	16	5,202
平成26年	37	4,424	102	194	305		5,062
平成27年	29	4,367	85	206	351		5,038
平成28年	32	4,537	95	216	371	16	5,267

月別警戒等出動状況

(件)

種別 月別	警戒等								風水害等自然災害	計
	火気設備等事故	燃焼事故	警報設備等	ガス漏れ	油流出	誤報等	危険排除	その他		
1 月	2		7		1	7				17
2 月	1	1	2		7	1				12
3 月	1	1	2		5	2	3			14
4 月			1		4	1	4			10
5 月		2	2		6	3	11			24
6 月			2		11	5	3			21
7 月		2	6		7	3	2			20
8 月		1	10		8	4	5		16	44
9 月		1	2		7	3	4			17
10 月		2	1		7	5	2			17
11 月		1	4		8	2	1			16
12 月	3	3	5		4	2	3			20
計	7	14	44		75	38	38		16	232

地区別警戒等出動状況

(件)

種別 地区別	警戒等								風水害等自然災害	計
	火気設備等事故	燃焼事故	警報設備等	ガス漏れ	油流出	誤報等	危険排除	その他		
江 別	2	4	11		36	16	14		10	93
野 幌	3	7	17		26	12	21		2	88
大 麻	2	3	16		13	10	3		4	51
計	7	14	44		75	38	38		16	232
管外										
総計	7	14	44		75	38	38		16	232

月別救急支援出動状況

(件)

種別 月別	救 急 支 援				計
	C P A (疑いを含む)	搬送困難	危険排除	そ の 他	
1 月	22	2	1	3	28
2 月	26	3	1	1	31
3 月	29	2	2		33
4 月	33		1	3	37
5 月	27	1	2		30
6 月	33	1	3		37
7 月	18	3	1		22
8 月	15	1	6	1	23
9 月	21	2	3		26
10 月	29	1	1		31
11 月	25	1	2		28
12 月	33	5	4	3	45
計	311	22	27	11	371

地区別救急支援出動状況

(件)

種別 地区別	救 急 支 援				計
	C P A (疑いを含む)	搬送困難	危険排除	そ の 他	
江 別	109	5	8	2	124
野 幌	139	7	13	2	161
大 麻	63	10	1	7	81
計	311	22	22	11	366
管外			5		5
総計	311	22	27	11	371

北海道広域消防相互応援協定に基づく出動状況

1. 応援出動状況

分類 種別	件数	出動車両台数	出動人員	備考
救 急 出 動	5	10	36	搬送人員 6 人
救 助 出 動	3	11	37	搬送人員 1 人
火 災 出 動				
警 戒 出 動				
計	8	21	73	搬送人員 7 人

(応援先内訳)

札幌市消防局	3 件
岩見沢地区消防事務組合	3 件
石狩北部地区消防事務組合	1 件
南空知消防組合	1 件

2. 被応援状況

分類 種別	件数	出動車両台数	出動人員	備考
救 急 出 動	12	19	55	搬送人員 8 人
救 助 出 動	2	5	15	搬送人員 2 人
火 災 出 動	2	5	13	
警 戒 出 動				
計	16	29	83	搬送人員 10 人

(要請先内訳)

札幌市消防局	9 件
岩見沢地区消防事務組合	6 件
南空知消防組合	1 件

航空隊応援要請状況

(件)

要請内訳 航空隊別	要請 件数	内訳					
		急病	交通事故	一般負傷	労働災害	火災	その他
ドクターヘリ	31	4	12	5	7	1	2
北海道防災ヘリ							
そ の 他							
計	31	4	12	5	7	1	2

火 災 編



建 物 火 災 現 場



火 災 発 生 状 況

区 分	内 訳	
出 火 件 数	建 物 火 災 21件	車 両 火 災 5件
	林 野 火 災 0件	そ の 他 火 災 6件
	合 計 32件	
焼 損 棟 数	全焼4棟・半焼2棟・部分焼4棟・ぼや20棟・爆発0棟 合計30棟	
建物焼損面積	焼 損 床 面 積	1,048㎡
	焼 損 表 面 積	159㎡
林野焼損面積	0. 00ha (0a)	
損 害 額	建物の損害 41,661千円	車両の損害 1,198千円
	林野の損害 0千円	その他の損害 998千円
	合 計 43,857千円	
死 傷 者 数	死者1人・負傷者4人	
出火1件当り 焼 損 面 積	約50㎡	
出火1件当り 損 害 額	約1, 370, 531円	

平成28年 月 別 火 災 状 況

			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
出火事件数	建物	全 焼				1	2					1			4
		半 焼								1				1	2
		部分焼									1				1
		ぼ や	2	2	1							4	1	4	14
		爆 発													
		計	2	2	1	1	2			1	1	5	1	5	21
	車船舶航空機その他	林 野													
		車 両				1					1			3	5
		船 舶													
		航 空 機													
		そ の 他		2		2	1				1				6
		計	2	4	1	4	3			1	3	5	1	8	32
焼損棟数	全 焼				1	2						1			4
	半 焼									1				1	2
	部分焼										1	3			4
	ぼ や	2	2	1	1	3						5	1	5	20
	爆 発														
	計	2	2	1	2	5				1	1	9	1	6	30
焼損床面積㎡						149	647			100	12	110		30	1,048
焼損表面積㎡					1		92					66			159
林野焼損面積a															
罹災世帯	全 損				1	1						1			3
	半 損														
	小 損				1	1					1	7		3	13
	計				2	2					1	8		3	16
罹 災 人 員						5	4				1	19		5	34
死傷者等	死 者													1	1
	負 傷 者						1							3	4
	計						1							4	5
焼損見積額千円	建 物	86	449	145	5,741	16,993				136	193	17,249	82	587	41,661
	林 野														
	車 両										648			550	1,198
	船 舶														
	航 空 機														
	そ の 他		276		669						53				998
	計	86	725	145	6,410	16,993				136	894	17,249	82	1,137	43,857

図1 月別火災出火数

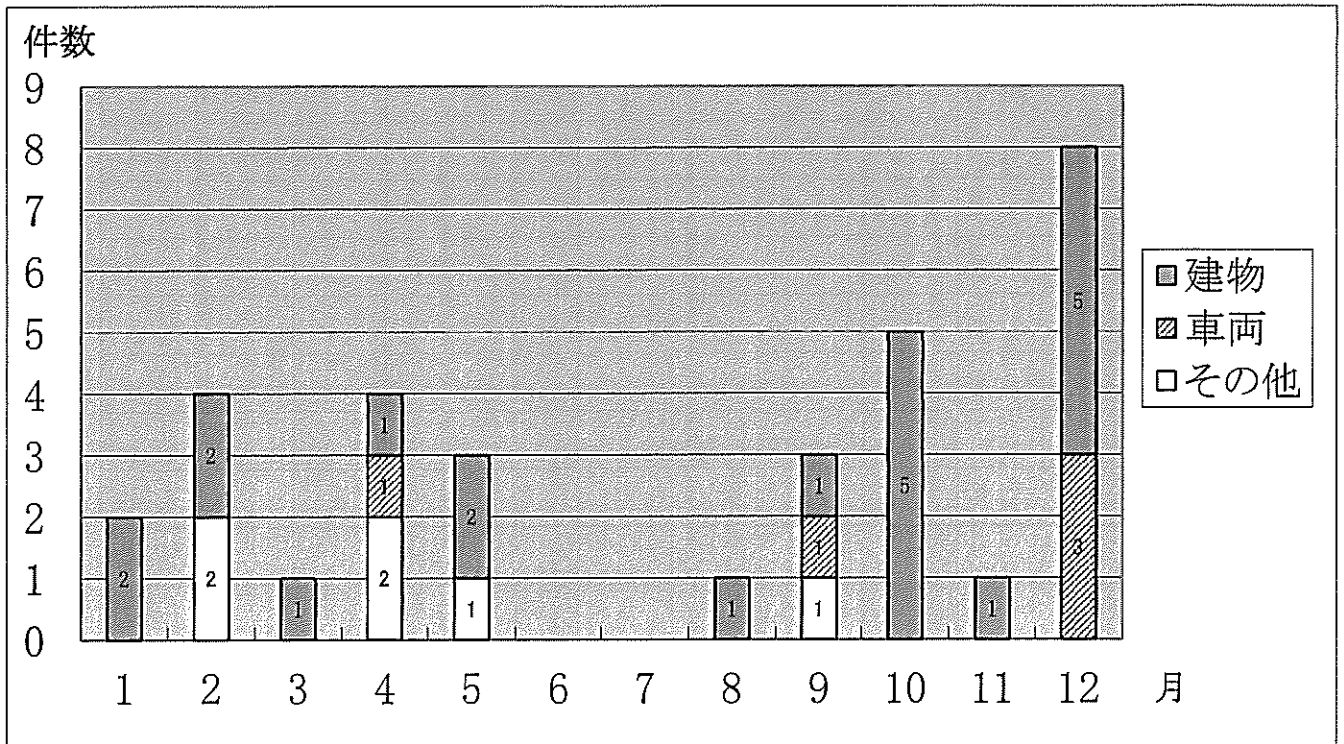
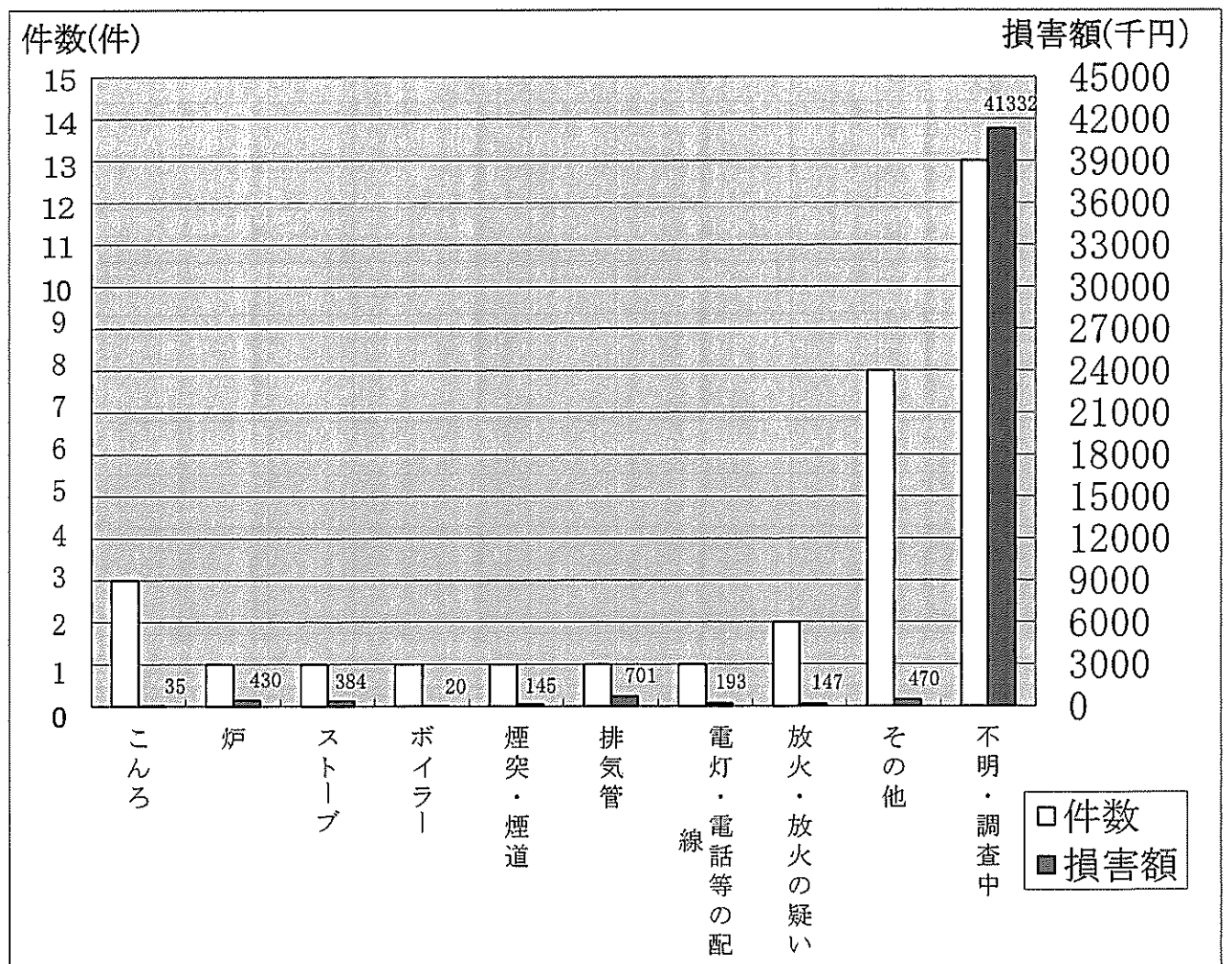


図2 出火原因別件数と火災損害額



過去3か年原因別火災発生状況

原因別	年別	平成28年		平成27年		平成26年	
		件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)
たばこ				1	193	2	1,174
こんろ		3	35	2	125		
かまど							
風呂かまど							
炉		1	430				
焼却炉						4	5,749
ストーブ		1	384	3	8,056	2	2,353
こたつ							
ボイラー		1	20			1	
煙突・煙道		1	145				
排気管		1	701	1	20	4	2,784
電気機器				1	19	3	8,894
電気装置							
電灯・電話等の配線		1	193	2	576		
内燃機関							
配線器具				1		2	65
火あそび				1	6,019	1	2
マッチ・ライター							
たき火							
溶接機・切断機				1	59	1	
灯火				1	71		
衝突の火花							
取灰							
火入れ							
放火		1	9	1	1,127		
放火の疑い		1	138	1	3,074		
その他		8	470	4	18,624	10	11,235
不明・調査中		13	41,332	8	6,867	7	12,732
合計		32	43,857	28	44,830	37	44,988

用 途 別 火 災 原 因 調 査

区 分	火 元 用 途	出 火 箇 所	発 火 源	経 過	着 火 物
建 物 火 災	専用住宅	居室	火のついたタオル	不明	ソファ
		居室	不明	不明	不明
		玄関	その他の配線	電線が短絡	柱
		壁内	ガスバーナー	不適の用に用いる	柱
		台所	不明	不明	不明
		ボイラー室	石油小型給湯器	灯油が漏洩する	第二石油類
		居室	ライター	放火	紙屑
	共同住宅	居室	電気マット	絶縁劣化により発熱	寝具類
		居室	不明	不明	ごみ屑
		台所	ガステーブル	放置	フライパンの柄
		台所	ガステーブル	考え違いにより使用を謝る	洗面器
		居室	不明	不明	不明
	工場	工場内	熱風炉	高温物が触れる	第二石油類
		地下ピット	生石灰	雨水が触れて発熱	給排水ホース
		作業場内	車両電気配線	短絡する	電気配線類
	倉庫	倉庫内	不明	不明	不明
		休憩室	ポータブル石油ストーブ	不明	衣服
	飲食店	調理場	大型こんろ	輻射を受けて発火	動植物油類
		飲食店内	排気ダクト	輻射を受けて発火	天井の板張
	物品店販売店	物品店販売店内	蛍光灯のソケット	不明	蛍光灯ソケット本体
	博物館	天井裏	ダクト型電気ヒーター	不明	不明
車 両 火 災	乗用車	車体下部	車両電気配線	交通事故により短絡	電気配線類
		運転席	ライター	放火の疑い	灯油
	貨物車	車体下部	不明	不明	不明
		車体下部	ブレーキライニング	摩擦により発熱する	タイヤ
	小型特殊車	機体下部	排気管	高温物が触れる	枯草
そ の 他 火 災	その他	除雪機	不明	不明	第一石油類
		仮設トイレ	不明	不明	不明
		ごみ集積場	不明	不明	ごみ類
		ビニールハウス内	温床線	不明	もみ殻
		河川敷	炭火	火の粉が遠くへ飛散する	枯草
		住宅敷地内空地	不明	不明	雑木

火 災 覚 知 別 状 況

種別 件数	火災報知 専用電話 (加入)	火災報知 専用電話 (携帯)	加入電話 (固定)	加入電話 (携帯)	警察電話	駆け付け 通報	事後聞知	その他	合計
件 数	11	12	2		3		3	1	32

曜日別・出火時間火災状況

(件)

曜日 時間	日	月	火	水	木	金	土	合計
0～1		1			1			2
1～2		1						1
2～3					1			1
3～4								
4～5								
5～6			1				1	2
6～7								
7～8			1				1	2
8～9								
9～10		1				2		3
10～11	1			1				2
11～12		1	1		1		1	4
12～13		2					1	3
13～14		1						1
14～15						2		2
15～16				1				1
16～17		2						2
17～18								
18～19							1	1
19～20				2				2
20～21						1		1
21～22					1			1
22～23								
23～24			1					1
不明								
合計	1	9	4	4	4	5	5	32

編 助 救



コ ン ク リ ー ト 壁 破 壊 活 動

月別救助出動状況

(件)

種別 月別	出 動 件 数	事 故 種 別									救 助 人 員		
		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故 等	風 水 害 事 故	機 械 に よ る 事 故	事 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ ス 事 及 び		破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
		建 物	建 物 以 外										
1月	11			3								8	5
2月	6			2								4	3
3月	5			2								3	1
4月	8			3			1	1				3	3
5月	10			3				1				6	1
6月	9			2	1							6	5
7月	8			3								5	6
8月	13			2		1						10	7
9月	4			3								1	4
10月	5			3					1			1	4
11月	5			1	1							3	2
12月	11			7								4	4
計	95			34	2	1	1	2	1			54	45

過去5か年救助出動状況

(件)

種別 年別	出 動 件 数	事 故 種 別										救 助 人 員	
		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自然 災害 等	風 水 害 等	機 械 に よ る 事 故	事 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ ス 欠 及 び 事 故	破 裂 事 故		そ の 他 の 事 故
		建 物	建 物 以 外										
平成24年	88			31	4		1	3	6		43	31	
平成25年	96	2		30	2	1	5	5	5		46	44	
平成26年	102	2		22	4	1	3	1	9		60	46	
平成27年	85	3		20	3		1	3	4		51	41	
平成28年	95			34	2	1	1	2	1		54	45	

地区別救助出動状況

(件)

地区別	種別	出動件数	事故種別									救助人員		
			火災		交通事故	水難事故	自然災害等	風水害	機械による事故	建物等による事故	ガス欠及事故		破裂事故	その他の事故
			建物	建物以外										
江別市内	江別	92			32	1	1	1	2	1			54	43
	野幌	25			7	1		1		1			15	12
	大麻	48			21		1		1				25	24
	管外	19			4				1				14	7
	計	3			2	1								2
計		95			34	2	1	1	2	1			54	45

発生場所別救助出動状況

(件)

発生場所別 種別			出動件数	事故種別									救助人員		
				火災		交通事故	水難事故	自然災害等	風水害	機械による事故	建物等による事故	酸ガス欠乏事故及び		破裂事故	その他の事故
				建物	建物以外										
屋内	住居		52							2	1		49	20	
	その他の屋内		2						1				1	1	
屋外	道路	高速自動車国道	3			3								1	
		その他の道路	28			27		1						17	
	水面	内水面	2				2							1	
		外水面													
	その他の屋外		8				4							4	5
地下															
その他															
計			95			34	2	1	1	2	1		54	45	

救 急 編



救 命 講 習 風 景
(小学生救命入門コース)

救 急 活 動

出場件数	傷病者搬送件数	不搬送件数	医師搬送	資器材搬送	傷病者搬送人員
4,537	4,210	327			4,250

月 別 救 急 出 場 状 況

(件)

種別 月別	出場 件数	事故種別										その他			
		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
1月	353	3			22	10		48		1	235	30			4
2月	339	6			18	8	2	43	1	6	220	32			3
3月	358	3			16	13	3	47	1	4	232	36			3
4月	362	2			23	6	5	40		5	238	40			3
5月	380	2			24	8	4	51	1	9	235	42			4
6月	341	1			18	17	9	34		1	220	35			6
7月	415	2			24	7	12	49		4	272	44			1
8月	396	2			32	12	5	47	2	2	249	38			7
9月	380	1			25	13	6	46	3	2	237	42			5
10月	403	5			14	10	5	57		5	255	47			5
11月	376	1			30	12	3	48	1	8	237	31			5
12月	434	6			27	16		52	1	6	291	32			3
計	4,537	34			273	132	54	562	10	53	2,921	449			49

搬送人員	4,250	5			277	128	54	538	8	39	2,752	449			
------	-------	---	--	--	-----	-----	----	-----	---	----	-------	-----	--	--	--

過 去 5 か 年 救 急 出 場 状 況

(件)

種別 年別	出場 件数	事故種別													搬送 人員	
		火 災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他				
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送		そ の 他
平成24年	4,136	32			294	37	56	536	7	55	2,632	424	1		62	3,776
平成25年	4,497	37			302	54	58	541	20	56	2,933	456			40	4,095
平成26年	4,424	30		2	251	61	50	619	24	66	2,863	404			54	4,079
平成27年	4,367	30		1	244	73	59	556	19	48	2,809	484			44	4,053
平成28年	4,537	34			273	132	54	562	10	53	2,921	449			49	4,250

曜 日 別 救 急 出 場 状 況

(件)

種別 曜日	出場 件数	事故の種類別													
		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
月	691	7			38	21	5	88	2	11	455	62			2
火	642	5			43	25	4	83	1	7	378	88			8
水	569	4			31	25	7	65	1	3	375	52			6
木	652	4			46	17	4	76	2	13	404	74			12
金	680	6			32	22	9	75		5	454	70			7
土	682	5			48	17	10	96		8	436	55			7
日	621	3			35	5	15	79	4	6	419	48			7
計	4,537	34			273	132	54	562	10	53	2,921	449			49

時 間 別 救 急 出 場 状 況

(件)

種別 時間	出場 件数	事故の種類別													
		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他
0～2	210	4			4	2		22		1	154	22			1
2～4	167	1			1	1		12	1	3	126	20			2
4～6	156	1			6	4		14	1	3	115	10			2
6～8	356	2			29	7		43		3	263	8			1
8～10	530	2			34	12	1	71		3	364	40			3
10～12	519	5			25	28	12	76		2	309	57			5
12～14	459	4			35	23	18	51	2	3	260	57			6
14～16	462	3			32	16	8	64	1	8	264	60			6
16～18	490	4			39	19	4	86	1	6	267	58			6
18～20	479	4			32	13	8	52	2	9	320	32			7
20～22	419	2			23	4	3	44	1	8	273	56			5
22～24	290	2			13	3		27	1	4	206	29			5
計	4,537	34			273	132	54	562	10	53	2,921	449			49

地区別救急出場状況

(件)

地区別 種別		出場 件数	事故種別													
			火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他
江別市		4,530	34			268	132	54	562	10	53	2,919	449			49
管内	江別	1,663	20			102	48	10	225	2	19	1,051	173			13
	野幌	1,807	10			127	68	25	188	4	21	1,093	246			25
	大森	1,060	4			39	16	19	149	4	13	775	30			11
管外		7				5						2				
計		4,537	34			273	132	54	562	10	53	2,921	449			49

高速自動車道救急出場状況

(件)

地区別 種別		出場 件数	事故種別										その他			
			火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
江 別 市		21				12	1					8				
管内 訳	江 別	7				4	1					2				
	野 幌	14				8						6				
	大 麻															
管 外		5				3						2				
計		26				15	1					10				

年 齢 別 救 急 搬 送 人 員 調

(人)

区分	種別	事 故 種 別											計
		火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ の 他	
		災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	転 院 搬 送 そ の 他	
新生児	生後28日未満										3	6	9
乳幼児	生後28日以上6歳以下				14			34			112	14	174
少 年	7 歳 ～ 17 歳	1			21	2	30	15			67	11	147
成 人	18 歳 ～ 64 歳	1			178	103	21	117	6	32	781	158	1,397
高齢者	65 歳 以 上	3			64	23	3	372	2	7	1,789	260	2,523
不 明													
計		5			277	128	54	538	8	39	2,752	449	4,250

年 齢 別 傷 病 程 度 別 搬 送 人 員 調

(人)

区分	程度	傷 病 程 度 別					計
		死亡	重症	中等症	軽症	その他	
新生児	生後28日未満		3	5	1		9
乳幼児	生後28日以上6歳以下		4	40	130		174
少 年	7 歳 ～ 17 歳		1	37	109		147
成 人	18 歳 ～ 64 歳	21	123	583	670		1,397
高齢者	65 歳 以 上	73	355	1,348	747		2,523
計		94	486	2,013	1,657		4,250

医 療 機 関 別 傷 病 者 搬 送 状 況

(人)

種別		急 病		交 通 事 故		一 般 負 傷		そ の 他		計	
告示別	開設者別	管 外	管 外	管 外	管 外	管 外	管 外	管 外	管 外	管 外	管 外
救急告示医療機関	国立	20	20	4	4	1	1	13	13	38	38
	公立	1,286	17	24	6	110	2	276	25	1,696	50
	公的	39	39	1	1	8	8	18	18	66	66
	私的病	1,265	557	231	107	384	143	338	220	2,218	1,027
	私的診療所	26	14	16	1	24	1	14	5	80	21
	計	2,636	647	276	119	527	155	659	281	4,098	1,202
その他の医療機関	国立							1	1	1	1
	公立	12	9							12	9
	公的										
	私的病	80	70			7	5	20	18	107	93
	私的診療所	24	5	1		4	2	3	1	32	8
	計	116	84	1		11	7	24	20	152	111
計	国立	20	20	4	4	1	1	14	14	39	39
	公立	1,298	26	24	6	110	2	276	25	1,708	59
	公的	39	39	1	1	8	8	18	18	66	66
	私的病	1,345	627	231	107	391	148	358	238	2,325	1,120
	私的診療所	50	19	17	1	28	3	17	6	112	29
	計	2,752	731	277	119	538	162	683	301	4,250	1,313
その他の場所	臨時ヘリポート										
	その他										
	計										
計		2,752	731	277	119	538	162	683	301	4,250	1,313

救急隊員の行った応急処置件数

(人)

種別 処置		急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他	計
応 急 処 置 対 象 人 員		2,751	274	537	672	4,234
止	血	18	18	40	12	88
固	定	12	121	77	66	276
人	工 呼 吸	13			2	15
心	マ ッ サ ー ジ					
	う ち 自 動					
心	肺 蘇 生	82	1	5	14	102
	う ち 自 動	47		4	6	57
酸	素 吸 入	649	21	41	179	890
気	道 確 保	113	3	8	16	140
	経 鼻 エ ア ウ ェ イ					
	喉 頭 鏡 ・ 鉗 子	2		2		4
	ラ リ ン ゲ ア ル マ ス ク 等	66	1	4	12	83
	気 管 挿 管	1		1		2
	う ち ビ デ オ 硬 性 喉 頭 鏡			1		1
保	温	2,255	113	397	549	3,314
被	覆	15	48	128	35	226
在	宅 療 法 継 続	44		2	1	47
	点 滴 処 置					
	気管切開孔・人工肛門等の外覆	6				6
	上 記 以 外 の 処 置	38		2	1	41
除	細 動	10			2	12
静	脈 路 確 保	98	4	3	12	117
	C P A 前	39	3	1	3	46
	C P A 後	59	1	2	9	71
血	糖 測 定	52		3	1	56
薬	剤 投 与	67	1	2	8	78
	ア ド レ ナ リ ン	58	1	2	8	69
	エ ピ ペ ン					
	ブ ド ウ 糖 溶 液	9				9
そ の 他 の 応 急 処 置		11				11
血	圧 測 定	2,628	267	519	641	4,055
聴 診 器 に よ る 聴 取		872	116	102	134	1,224
血 中 酸 素 飽 和 度 の 測 定		2,661	270	527	655	4,113
心	電 図	1,647	47	124	223	2,041
	う ち 1 2 誘 導	13			4	17
計		11,247	1,030	1,978	2,550	16,805

※ 事故種別「その他」とは、火災、自然災害、労働災害、運動競技、加害、自損行為、転院搬送の事案。

応急手当普及講習会の開催状況

1. 講習別参加人員

種 別	開 催 回 数	参 加 人 員	内 容
普通救命講習	I	52回	1,415人
	II	8回	124人
	III	5回	66人
	計	65回	1,605人
上級救命講習	2回	33人	応急手当の重要性、その他応急手当救命に必要な応急手当、他(成人、小児、乳児、新生児に対する方法)
救命入門コース	10回	235人	応急手当の重要性、救命に必要な応急手当(主に成人に対する方法、実技のみ)
一般救急講習	29回	1,588人	応急手当(市民からの要請に基づく項目・時間により実施する講習)

2. 過去年別 応急手当普及講習会実施状況

(回／人)

			平成24年以前	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	計
普通救命講習	Ⅰ	回数	808	55	48	68	52	1,031
		男性	8,733	750	643	943	761	11,830
		女性	10,794	610	488	899	654	13,445
		合計	19,527	1,360	1,131	1,842	1,415	25,275
	Ⅱ	回数	100	9	8	7	8	132
		男性	786	126	110	71	75	1,168
		女性	553	75	82	52	49	811
		合計	1,339	201	192	123	124	1,979
	Ⅲ	回数		2	3	6	5	16
		男性		6	3	15	4	28
		女性		37	48	83	62	230
		合計		43	51	98	66	258
	計	回数	908	66	59	81	65	1,179
		男性	9,519	882	756	1,029	840	13,026
		女性	11,347	722	618	1,034	765	14,486
		合計	20,866	1,604	1,374	2,063	1,605	27,512
上級救命講習	回数	24	3	2	1	2	32	
	男性	185	26	23	5	5	244	
	女性	154	5	13	20	28	220	
	合計	339	31	36	25	33	464	
救命入門コース	回数	2	10	10	10	10	42	
	男性	15	62	104	116	112	409	
	女性	14	80	118	113	123	448	
	合計	29	142	222	229	235	857	
一般救急講習	回数	637	27	41	26	29	760	
	人数	29,844	1,400	1,593	1,279	1,588	35,704	

3. 救命講習参加者年代別内訳(一般救急講習を除く)

(人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	計
男性	607	106	45	60	56	60	23		957
女性	551	80	50	97	100	36	2		916
計	1,158	186	95	157	156	96	25		1,873

消 防 団 編



防 災 訓 練



消 防 団 員 数 状 況

(人)

階級 区分	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	女性団員	計
団 本 部	1	3							4
中 央 分 団			1	1	1	5	12		20
野 幌 分 団			1	1	1	5	15		23
北 部 分 団			1	1	1	5	11		19
大 麻 分 団			1	1	1	5	13		21
上 江 別 分 団			1	1	1	5	13		21
東 野 幌 分 団			1	1	1	5	12		20
豊 幌 分 団			1	1	1	5	12		20
東 部 分 団			1	1	1	5	13		21
女 性 分 団			1	1	1	5	15	23	23
計	1	3	9	9	9	45	116		192
定 数	1	3	9	9	9	45	124		200

消 防 団 員 階 級 別 勤 続 年 数 状 況

(人)

階級 年数	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	女性団員	計
5 年 未 満						4	62	13	66
5 年 以 上 10 年 未 満					2	5	23	2	30
10 年 以 上 15 年 未 満				1		5	12	2	18
15 年 以 上 20 年 未 満			1		1	8	6	3	16
20 年 以 上 25 年 未 満				2	2	6	6	3	16
25 年 以 上 30 年 未 満		1	1	1	1	10	4		18
30 年 以 上	1	2	7	5	3	7	3		28
女性団員			1	1	1	5	15	23	
計	1	3	9	9	9	45	116		192

※ 平均勤続年数 13.7年

消 防 団 員 研 修 派 遣 状 況

(人)

年度 課程	20	21	22	23	24	25	26	27	28
消防大学校 消防団長科									1
北海道消防学校 幹部教育 指揮幹部科								1	1
基礎教育								1	1
特別教育 女性団員課程								1	1
北海道消防協会 指導員研修			1				1		

消 防 団 階 級 別 年 齢 状 況

(人)

階級 年齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	女性団員	計
18 歳 ～ 20 歳									
21 歳 ～ 25 歳							3		3
26 歳 ～ 30 歳							9		9
31 歳 ～ 35 歳						1	13		14
36 歳 ～ 40 歳					1	3	30	5	34
41 歳 ～ 45 歳					1	6	25	1	32
46 歳 ～ 50 歳						3	18	9	21
51 歳 ～ 55 歳				2	2	14	5	1	23
56 歳 ～ 60 歳		1	2	3	2	11	8	5	27
61 歳 ～ 65 歳	1	1	2	2	2	4	3	1	15
66 歳 ～ 70 歳		1	5	2	1	3	2	1	14
71 歳 ～ 75 歳									
76 歳 ～ 80 歳									
女性団員			1	1	1	5	15	23	
計	1	3	9	9	9	45	116		192

※ 平均年齢 48歳

消 防 団 員 出 動 状 況

(人)

種別 所属	火災	風水害等 の災害	捜索	その他の 災害	演習・ 訓練	広報・ 指導	特別警戒	研修等	計
団 本 部	33	4			13	8	3	30	91
中 央 分 団	94	6			110	43	10	4	267
野 幌 分 団	20	8			116	45	10	8	207
北 部 分 団	51	4		1	86	43	10	7	202
大 麻 分 団	4	9		6	91	59	16	9	194
上 江 別 分 団	12	6		1	95	61	12	10	197
東 野 幌 分 団	19	4		1	99	46	10	14	193
豊 幌 分 団	5	8		1	109	36	10	6	175
東 部 分 団	32	4		2	93	55	10	8	204
女 性 分 団					57	153	10	34	254
計	270	53		12	869	549	101	130	1,984

消 防 の 沿 革

江別消防のあゆみと主な災害等

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江別市のできごと
明治 30			8	・江別村市街川沿・根本旅館より出火、全市街 130 余戸の内、105 戸を焼失		・江別分署が江別警察署に昇格
31	12	・公設江別消防組の創設	9	・石狩川水系各河川氾濫、全域浸水、農耕地被害甚大。江別地区の半分以上埋没		・戸長役場庁舎新築移転
33		・市内 1 条 1 丁目に番屋を設置し、腕用ポンプ 1 台を設備	7	・野幌停車場焼失		・江別村農会設置
34	5	・野幌に江別消防組第 2 部を増設し腕用ポンプ 1 台を設備	9	・暴風雨により石狩川及び各支川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		・大河原文蔵、最初の道議選に当選
37			7	・暴風雨により千歳川及び江別川氾濫		・江別市場設立
38			5	・野幌兵村共有樹林地火災		
39		・第 1 部組頭 1 部長 1 小頭 2 消防手 35 名 第 2 部小頭 3 消防手 22 名	12	・江別橋左岸以北 10 数戸焼失し第 2 部消防手河田庄三郎殉職する		・2 級町村制施行 ・江別村役場庁舎新築移転
42			4	・融雪、豪雨の為石狩川、千歳川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		・1 級町村制施行
44			8	・暴風雨により石狩川及び田畑の浸水流出		
大正 2			8	・暴風雨の為豊平川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		
8			5	・融雪異常暖気の為、石狩川、千歳川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		・榎本農場小作地開放
9	3	・市内王子 6 番地に江別消防組第 3 部を増設し腕用ポンプ 1 台を設備	7	・降雨の為石狩川及び千歳川氾濫		・石狩大橋竣工開通
10	12	・訓練熟達により金馬簾 1 条使用認可				・野幌原始林特別天然記念物の指定をうける
11	8	・一般寄附及び町費補助により鈴木式ガソリンポンプ 2 台を購入し、第 1 部、第 3 部に常置	8	・暴風雨の為石狩川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		・夕張川切替新水路着工（昭和 11 年完工）
12		・第 3 部番屋新築（14 坪 5 合）	4	・暴風雨の為石狩川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		
15		・市内 12 戸地区に私設消防組結成（江別消防組第 4 部の前身）				・石狩川の漁業に対する新規許可を停止
昭和 2	1	・私設火防溜水設置、警鐘梯子 3 箇所設置				
	4	・江別火災予防組合で夜警番詰所を設置			6	・開村 50 年記念祝典挙行
3			7	・市内 5 条 2 丁目より出火、15 戸焼失		・飛鳥山公認競馬場開場
			9	・豪雨の為千歳川堤防決壊		
5	3	・市内 12 戸通り私設消防組を、江別消防組第 4 部として編入	8	・石狩川、千歳川堤防決壊氾濫、家屋及び田畑の浸水流出	4	・夕張鉄道の開通 ・野幌兵村義勇救護隊創設
6			4	・融雪、異常低気圧の為幌向川、千歳川堤防決壊、家屋及び田畑の流出		・北海道無尽会社江別出張所設立
			5	・融雪、異常低気圧の為石狩川、千歳川堤防決壊、氾濫、家屋及び田畑の流出		

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 7			8	・豪雨の為、石狩川各支川堤防決壊氾濫により江別市街 1.5m 浸水、田畑 4.123ha 浸水		
8			5	・融雪豪雨の為石狩川各支川堤防決壊、氾濫、江別地域の大半が被害を受ける		
9	7	・組頭以下 81 名、札幌市に於いて梨本宮殿下の御臨閲を受ける ・野幌火災予防組合が夜警番詰所を設置	1	・旧屯田兵第 2 大隊本部建物焼失		・江別太火防組合結成
			10	・市内 6 条 7 丁目仏壇灯明より出火、13 棟 23 戸焼失		
10	12	・第 1 部に自動車ポンプ（フォード V 8）購入配置	8	・豪雨により千歳川堤防決壊、家屋及び田畑の流出		・北海道電灯株式会社江別火力発電所設立
			9	・豪雨により野津幌川排水氾濫		・陸軍大演習が行われ、天皇陛下野幌原始林大沢に行幸
11	10	・陸軍特別大演習地方行幸に関し、組頭以下 31 名陛下の御親閲を受ける ・第 3 部に自動車ポンプ（フォード V 8）購入配置 ・第 2 部に自動車ポンプ購入配置	4	・12 戸に於いて住宅 3 棟 3 戸焼失、2 名焼死		
12	10	・江別高等女学校に於いて防護団発団式				・江別町競馬会この年をもって終止符
14	4	・消防組と防護団を統合し、警防団とする（団員 321 名）。4 部制を 4 分団制とする	3	・上江別 4 戸 2 棟焼失、母児 2 名焼死		
15		・第 2 分団消防部に自動車ポンプ購入配置				
16	1	・規律訓練優秀賞を受ける				
18	6	・警防団に常備制を敷き、機関員を常備団員とする	4	・豪雨により幌向川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出	7	・王子製紙工場が王子航空機工場に転換 ・各小学校を国民学校と改称
20	10	・役場内に消防常備本部設置	7	・豪雨により石狩川、夕張川溢水、家屋及び田畑の浸水流出		・米空軍戦闘機江別上空飛来、王子航空機工場、江別発電所などに爆撃を加える
			11	・市内建具工場 2 棟焼失		
21	6	・4 分団制を 3 分団制とし、団員 230 名。1 分団を 3 分団と合併中央分団。2 分団を野幌分団、4 分団を北部分団にそれぞれ改める。分団に消防部、予防部の 2 部を置く ・江別太私設消防団結成	11	・暴風雨により石狩川及び各支川溢水、家屋及び田畑の浸水流出		・王子航空機工場が北日本製紙工場になり操業開始
22	2	・本部に団員召集サイレン及び風速計設置	3	・元野幌煉瓦工場より出火、工場 1 棟、社宅 1 棟 5 戸焼失		
	4	・消防団令制定公布	4	・融雪により石狩川、幌向川溢水、家屋及び田畑の浸水流出		・江別、札幌（五番館）間に中央バス、雁来経由で定期バス運行
	7	・警防団を消防団に改組、団員 205 名	7	・機関車の煙突の飛び火により 5 棟焼失		・江別保健所開設
23	3	・消防組織法の制定により自治体消防機構となる	5	・上江別、煙突の飛び火により 3 棟焼失		・開基 70 周年記念祝典
	10	・大麻私設消防団結成		・豊幌、煙突の飛び火により住宅 3 棟焼失		・国立札幌病院江別診療所（現江別市立病院）開設
24	4	・消防委員会設置 ・江別町火災予防条例、危険物取締条例制定	2	・角山、煙突の飛び火により住宅 3 棟焼失		・都市計画法により元江別の一部を緑町、一番町と改める
			6	・角山、取り灰の不始末により住宅 3 棟焼失		

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 24			7	・集中豪雨により野津幌川氾濫、道路の決壊、橋梁破壊流出、田畑浸水		
25	4	・江別消防団員定員条例改正 150 名とする	9	・野幌機農高校実験室より出火		・町政だより発刊
26	4	・対雁自衛消防隊結成 ・江別太自衛消防隊結成	8	・豪雨により野津幌川溢水、家屋及び田畑の浸水流出 ・江別太資材工場 3 棟焼失		・江別町野幌出張所を開設
			3	・札幌刑務所角山作業所 5 棟焼失		・江別商工会議所設立
			7	・萩ヶ岡醸造製油会社より出火 18 棟焼失		・国立江別診療所、町に移管、町立病院となる (現江別市立病院)
			9	・野幌高校道教員研修所焼失 7 名焼死		
27	2	・札幌市と消防の相互応援に関する協定の締結	11	・元野幌窯業工場より出火、2 棟焼失	7	・住民登録法施行第 1 回人口調査
28	3	・江別地区警察署と相互応援協定締結	5	・市内 3 条 3 丁目より出火、227 棟焼失、275 世帯罹災、罹災人員 1,305 名、焼損面積 6,136 坪		
29	5	・全町 30 地区に自主的に火災予防組合結成 ・市制施行により江別市消防団に改称	4	・融雪により旧豊平川排水氾濫、家屋及び田畑の浸水流出	6	・市民の自治組織として江別市火防衛生組合を結成する
	7	・札幌市と消防の相互応援に関する協定書の一部改正	5	・暴風により家屋全壊、半壊多数	7	・市制施行、江別市となる
	11	・火災予防組合の結成に伴い消防団予防部を解消すると共に分団の消防部長制を廃止し副分団長及び副班長制とする	9	・台風 15 号により家屋全壊、半壊、農作物の 90%壊滅		
30	1	・警察法の改正に伴い、新たに江別警察署と相互応援協定の締結	4	・融雪により石狩川各支川溢水、堤防決壊、家屋及び田畑の浸水流出	8	・全道青年大会開催
	10	・消防専用電話を各分団に架設				
	12	・殉職消防組員、河田庄三郎氏の 50 回忌を成田山光雲寺に於いて行う				
		・東西野幌自衛消防隊結成				
31	8		2	・道立野幌高等学校宿舍 230 坪焼失	11	・野幌駅開設 ・上江別浄水場完成し江別市街地の給水開始
			4	・融雪により石狩川各支川溢水、堤防決壊、家屋及び田畑の浸水流出		
			5	・元野幌窯業会社より出火、16 棟焼失		
			9	・豪雨により野津幌川氾濫、田畑冠水 650ha		
32	5	北部分団 30 周年記念式典	5	・上江別放火により 4 棟焼失	12	・公益質屋開設
	7	・市役所階上に於いて危険物講習会、試験実施	9	・豪雨により排水、河川氾濫、家屋及び田畑の浸水 950ha		・上江別に母子寮完成
	10	・市水道に消火栓敷設、市内に 36 基敷設する				
33	6	・団本部に火災専用電話敷設			4	・野幌屯田兵第 2 中隊本部、北海道有形文化財に指定
34	1	・出初め式に於ける最後の登梯式を行う	2	・道立江別高等学校火災	5	・市内バス運行開始(江別駅前～対雁市営住宅)
	10	・消防本部及び消防署設置				
35		・消防無線電話(中短波)新設			12	・農事有線放送開始
36	10		2	・緑町建設会社寮より出火、2 棟焼失、2 名焼死		・江別駅前国道、道々中央通り舗装完了

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 36			7	・集中豪雨により石狩川各支川溢水氾濫、家屋及び田畑の浸水、1,000 戸		
37			1	・美原の住宅で出火、2 棟焼失、4 名焼死		
	8	・119 番の設置 ・江別太石狩河畔にて全道防災訓練実施	8	・台風 9・10 号の襲来により家屋、田畑浸水 1,135 戸、罹災者 6,487 人	3 8 10	・交通安全都市を宣言 ・北海道水防訓練行われる(石狩川・夕張川合流点) ・しょう紅熱市内に広がる
38	4	・江別市火災予防条例の改正				
39	3	・江別市消防団員定員条例改正 100 名とする	3	・緑町アパート物置で子供の火遊びから 4 名焼死	8	・道営大麻団地起工式
	5	・火災保険号(ポンプ車) 204 号車、日本損害保険協会より寄贈される			10	・市制 10 周年記念式典
40	3	・江別市消防創設 65 周年記念式典	9	・台風 23・24 号の襲来により石狩川各支川溢水、氾濫、家屋浸水、田畑冠水		
	4	・江別市消防職員賞じゅつ金条例の制定				
	7	・美原自衛消防隊結成 ・江別市消防団員定員条例改正 110 名とする	10	・野幌町の駅前商店街飲食店で出火、郵便局など 2 棟焼失		・野幌原始林、森林公園造成着工
	8	・江別市消防団大麻分団増設、4 分団制				
41	4	・消防団に日本消防協会より竿頭綬を授与される			1	・道立消防学校完成
	9	・豊幌自衛消防隊結成 ・消防署野幌出張所及び消防団野幌分団庁舎新築移転(野幌町 30 番地)	8	・集中豪雨により石狩川支川溢水、家屋浸水、田畑冠水 400ha	6 12	・下水道事業着工 ・市役所新庁舎高砂町に完成
42	8	・石狩管内水防訓練大会を篠津川で実施			9	・都市等級により江別市は 5 級に指定される
43	7	・救急車 302 号車購入、救急業務開始	5	・十勝沖地震(震度 4)により家屋一部破損 58 戸	5 6	・江別市旗を制定 ・江別市開基 90 年、市制施行 15 周年記念式典
	10	・江別警察署と救急事態に際しての相互応援協定を締結 ・消防本部(署)の庁舎新築移転(高砂町 24 番地)跡地に消防署中央出張所を新設 4 出張所制となる			10 11	・新石狩大橋完成 ・野幌屯田兵村記念館完成
	11	・消防本部庁舎屋上に消防監視用テレビ設置				
	12	・消防団に北海道知事より表彰旗を授与される ・消防署大麻出張所、消防団大麻分団庁舎(市出張所庁舎と併設)を新築(大麻中町 26 番地)、4 出張所制	2	・異常降雪により国道 12 号交通渋滞バス、一般車 500 台、約 2,500 人が被害を受ける	1 11	・市民憲章制定 ・江別市火防衛生組合解散
44	7	・岩見沢市・広島町と消防の相互応援に関する協定の締結	3	・異常降雪により交通渋滞 388 人救出	4	・江別太の一部を東光町と改める
45	4	・篠津自衛消防隊結成	4	・融雪により内水湛水、床下 63 戸、田畑浸水 300ha		・江別太火防組合解散
			5	・融雪により内水湛水、床上 27 戸、床下 48 戸、田畑浸水 1,078ha、道路冠水 10.5km	8	・中央通り買い物公園実施
46	12	・上江別自衛消防隊結成				
	3	・江別市消防団員定員条例改正 125 名とする ・救急車 301 号車が日野医院より寄贈される				

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 46	4	・江別市消防団上江別分団増設、5分団制	9	・集中豪雨により門水湛水の為床上6戸、畑作被害 18, 2ha、床下24戸、道路4ヶ所	5	・重兵衛渡し渡船廃止
	6	・消防用無線電話(超短波)新設			9	・榎本公園に対雁100年記念碑完成
	10	・東野幌自衛消防隊結成			11	・市の花「菊」、市の木「ナナカマド」を制定
	11	・消防署北部出張所、消防団北部分団庁舎新築移転(緑町東2丁目)				
	12	・消防署上江別出張所、消防団上江別分団庁舎新築(現上江別南町1番地25)、5出張所制				
	47	4			1	・東野幌青少年会館完成
	6	・八幡自衛消防隊結成				
		・広報車601号車が日本消防協会より寄贈される				
		・南空知消防組合と消防の相互応援に関する協定の締結				
	7	・岩見沢地区消防事務組合と消防の相互応援に関する協定締結				
		・東光自衛消防隊結成				
	10	・消防本部機構改革3課6係制とする			12	・ゴミ粉碎処理工場運転開始
	11	・石狩北部地区消防事務組合消防の相互応援に関する協定の締結				
48		・江別市消防本部に救助隊設置	4	・低気圧の影響により家屋等の全半壊、一部破損	3	・江別終末処理場完成
	1	・野幌森林自衛消防隊結成			6	・西野幌の一部を文京台と改める
	5	・火災保険号101号車が日本損害保険協会より寄贈される				
	10	・豊幌自治会より豊幌消防会館を寄贈される				
49		・札幌市と消防の相互応援に関する協定書の一部改正する	8	・豪雨により石狩川決壊、湛水、各支川溢水床上259戸、田畑浸水906ha ・台風6号の襲来により床上241戸、田畑冠水1,649ha、土木被害24ヶ所、死者1名	8	・第1回市民まつり実施
	10	・消防本部(署)、江別電業所及び江別警察署間に専用電話を設置			10	・史跡駅通の松の伐採
		・江別市消防団員定員条例改正150名とする			10	・野幌老人憩いの家開設
50	10	・消防団東野幌分団を増設、新築移転(東野幌本町7番地)6分団制となる	6	・幸町木材店より出火、7棟焼失	12	・夜間急病診療所開設
		・消防署東野幌出張所、消防団東野幌分団庁舎新築(東野幌本町7番地)、6出張所制				
51		・江別市火災予防条例の全部改正	10	・台風20号の襲来により門水湛水、床上1戸、床下23戸、田畑浸水130ha		
		・消防監視用テレビ廃止			11	・石狩大橋架替工事完成
	3	・江別市消防協力者要綱を定める				
52		・広報車603号車が拝野武二氏より寄贈される	6		5	・米国グレシャム市と姉妹都市提携
	3	・江別太自衛消防隊解散				
53	4	・消防本部救助隊を消防署に配置替	10		7	・江別市開基100年 ・高知県土佐市と友好都市提携
	2	・消防救急指令装置導入、運用開始				
54		・江別消防創設80周年記念式典	10		3	・大麻体育館開設
	10	・真願寺に消防顕彰碑の建立			11	・市街地東光通り東光橋完成
55	3	・救急車(3B型)302号車が日本損害保険協会より寄贈される				

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 55	4	・消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）２０５号車が織田武雄氏他より寄贈される	4	・上江別に於いて子供の火遊びから２戸１棟焼失、５名焼死		
	7	・指令車（Ｊ－３６型）拝野武二氏より寄贈される			7	・江別市防災訓練行われる
56	8	・集中豪雨、台風１５号の災害に際し、市内緑町第２自治会長より、感謝状授与される	2	・東野幌に於いて住宅１棟焼失、３名焼死	9	・道立総合運動公園が西野幌下学田に設置決定
	11	・集中豪雨、台風１５号の災害活動により、江別市長から表彰状を授与される	8	・集中豪雨により石狩川、各支川溢水氾濫、堤防決壊の為全壊４戸、床上浸水４４０戸、田畑浸冠水５，５０９ha	3	・江別市立病院江別高等看護学院開院
	12	・集中豪雨、台風１５号の災害による防災功勞として北海道知事より消防本部に防災功勞章並びに消防団に竿頭綬を授与される		・台風１５号の襲来により門水湛水、床上浸水９１戸、田畑冠水１，８０５ha	4	・ごみ焼却処理場運転開始
		・ライオンズクラブ国際協会３３１－Ａ地区より、水害救助用ボートの寄贈を受ける				
57	2	・江別市萩ヶ岡に消防待機宿舎を建設				
	3	・消防庁長官より消防本部に防災功勞章並びに消防団に竿頭綬を授与される	3	・浦河沖地震発生（震度４）、軽傷１名、土木被害１，０００万円	4	・水道庁舎完成
	8	・緊急給水用ろ水器、日本消防協会より寄贈（市水道部に配置）			8	・北海道水防訓練行われる（石狩川河畔）
	9	・昭和５６年集中豪雨、１５号台風の災害による防災功勞として、内閣総理大臣より表彰状及び功勞賞を授与される				
58	5	・日赤江別市地区より救命ボートの寄贈を受ける				
	10	・日本道路公団札幌建設局と、救急業務に関する協定を締結				
		・岩見沢地区消防事務組合と、消防の相互応援に関する協定書の全部改正				
59	11	・札幌市、岩見沢市と消防の相互応援に関する協定書の一部改正			11	・北海道縦貫自動車道、札幌～岩見沢３１．９キロ開通
	3	・消防用無線電話基地局の増設、石狩町、石狩北部地区消防事務組合及び南空知地区消防組合と消防の相互応援に関する協定書の全部改正			1	・江別市立病院外来新棟完成
	4	・消防本部（署）の機構改革、本部３課６係、消防署７係６出張所			2	・勤労者研修センター完成
	11	・消防署中央出張所、消防団中央分団庁舎新築移転（市内３条１丁目）			4	・野幌若葉小学校開校
60	8	・日本消防協会より電源照明用資器材搬送車５０３号車が寄贈			7	・大麻高校開校
		・日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車１０３号車が寄贈される				・北海道水防訓練行われる（石狩川大橋左岸）
61	10	・札幌市と消防の相互応援に関する協定書の一部改正				・市制施行３０周年
	4	・江別市消防団員定員条例改正１７５名			4	・市外局番「０１１」化
	5	・江別市消防団豊幌分団増設、７分団制	7	・見晴台店舗兼住宅１棟焼失、母子３名焼死	7	・北光小学校開校
						・森林キャンプ場完成

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 61	8	・仮設訓練塔 1 棟を消防訓練場に設置する	11	・文京台緑町大学学生食堂新築工事現場火災、焼死 2 名、負傷者 9 名	11	・J R 高砂駅の開業
62					12	・保健センター完成
63	3	・化学車 1 0 4 号車を購入			4	・文京台小学校開校
	4	・消防署の機構改革 6 出張所制を 3 出張所制とする ・江別市消防団員定員条例改正 187 名 ・消防団副団長の 2 名制			3	・北海道情報大学着工
	6	・消防団東部分団増設、8 分団制			5	・江別市コミュニティセンター着工
	9	・消防庁舎建設準備委員会設置	9	・東野幌町に於いてガス爆発により住宅 1 棟 2 戸全壊、半径 130m の範囲内の 57 棟に被害		
平成元	3	・消防庁舎建設委員会を設置			4	・北海道情報大学開学
	4	・江別市消防職員定数条例改正 102 名			8	・江別市情報図書館オープン
					9	・江別市コミュニティセンターオープン ・第 44 回国民体育大会開催
2	4	・江別市消防職員定数条例改正 104 名 ・消防署の機構改革、副署長制を 2 課制とする			10	・江別市葬斎場オープン
					3	・第二大麻体育館オープン
					6	・江別市情報図書館と市内中学校の情報オンライン化となる
3	3	・札幌市、広島町、岩見沢地区（組）、石狩北部地区（組）、及び南空知（組）との消防相互応援協定廃止			10	・国勢調査
					3	・北電江別発電所廃所
	4	・江別市消防職員定数条例改正 105 名 ・北海道広域消防相互応援協定締結 ・江北地区自衛消防隊結成			4	・市郷土資料館オープン
	7	・消防本部庁舎着工			11	・S C C 国際交流センター完成 ・人口 10 万人達成
	8	・女性消防団員 10 名採用				
4	4	・江別市消防職員定数条例改正 107 名 ・江別市消防団員定員条例改正 192 名 ・機構改革により、通信指令室、救助隊を設ける			2	・道立食品加工研究センターオープン
	8	・女性消防団員 5 名採用（計 15 名） ・第 21 回全国消防救助技術大会出場（千葉市）			4	・ふれあいワークセンターオープン
	10	・消防本部庁舎完成				
5	2	・指揮車購入			12	・「季節の道」夏のゾーン完成
	3	・消防本部庁舎新築移転（野幌代々木町 8 0 番地）、緊急情報システム運用開始 ・旭川ガス（株）より救助工作車 5 0 4 号車が寄贈される			4	・中央中学校開校
	4	・江別市消防団員定員条例改正 197 名			7	・陶芸の里「セラミックアートセンター」着工
	8	・第 22 回全国消防救助技術大会出場（福岡市）			10	・王子・神崎製紙合併、「新王子製紙」となる

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
平成 5	10	・災害弱者緊急通報システム稼動運用開始 ・米国市長会、消防本部庁舎視察 ・女性消防団員 7 名採用 (欠員 2 名) 計 20 名			10	・市役所、第 2・第 4 土曜日完全閉庁開始
	11	・第 9 回全国婦人消防操法大会出場 (横浜市) ・消防団副団長 3 名制			11	・江別市花き栽培技術指導センターオープン
6	2	・(社)江別市及び三郡医師会と、高速自動車国道等の救急・救助活動に関する協定書締結			4	・江別市ガラス工芸館オープン
	3	・はしご付き消防自動車 5 0 2 号車 (38m級) を購入				
	4	・江別市消防職員定数条例改正 111 名 ・江別市消防団員定員条例改正 200 名	7	・石狩川水難事故、中学生男子 3 名水死		
	6	・第 46 回北海道消防大会開催			10	・市制施行 40 周年を迎える ・人口 11 万人突破 ・市役所、完全週休 2 日制スタート
	7	・北海道広域消防相互応援協定の一部改正			12	・陶芸の里「セラミックアートセンター」オープン ・勤労者総合福祉センターオープン
	10	・女性消防団員 3 名採用、計 23 名 ・防火管理者連絡協議会と危険物安全協会より連絡車 6 0 6 号車が寄贈される			1	・訪問看護ステーションオープン
7	2	・消防ポンプ自動車 (CD-Ⅱ) 2 0 2 号車購入、中央分団配置			4	・いきいきセンターオープン ・屯田資料館オープン
	4	・江別市消防職員定数条例改正 113 名				
	5	・救急救命士 2 名誕生				
	6	・消防署大麻出張所庁舎移転新築着工				
	9	・消防ポンプ自動車 (CD-Ⅰ) 2 0 7 号車が日本損害保険協会より寄贈される			10	・国勢調査により人口 11 万 5 千人突破
	10	・巨大地震・災害対策海外研修視察 (消防長参加) ・江別市救急業務高度化推進協議会設立			12	・野幌グリーンモール完成
8	2	・消防署大麻出張所庁舎新築移転 (大麻元町 192 番地 3)、業務を開始する ・消防ポンプ自動車 (CD-Ⅰ) を大麻分団に配置する	6	・森林公園行方不明者捜索 (トド山口駐車場)	2	・第 3 回石狩川サミット開催
	4	・江別市消防職員定数条例改正 115 名			3	・野幌小学校新校舎完成 ・江別高校新校舎完成
	6	・江別市消防団に北海道消防協会会長より表彰旗並びに表彰状授与される			7	・第 34 回北海道障害者スポーツ大会開催
	10	・江別市消防職員委員会設置される				・第 45 回全道身体障害者福祉大会開催
	12	・(社) 日本自動車工業会より高規格救急自動車 3 0 3 号車が寄贈される			12	・市情報公開条例施行
9	2	・高規格救急自動車運用開始			4	・(財) 江別市在宅福祉サービス公社事業開始
	4	・江別市消防職員定数条例改正 118 名				・いづみ野小学校開校

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
平成 9	5	・札幌圏防災関係機関総合防災訓練に参加			4	・知的障害者の入所施設(えべつ朋友荘)開所
	7	・緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練に参加			10	・えぼあホール(市民文化ホール)・大麻公民館オープン
	12	・大型水槽車 108 号車を更新				・「ディサービスセンターあかしや」開所
10	1	・救護活動資器材搬送自動車愛称決定「救太くん」			1	・江別市農協創立 50 周年
	3	・自治体消防 50 周年記念式典参加			2	・痴呆性老人等支援連絡会議設立
	4	・消防職員定数条例改正 121 名				・災害時における郵便局と江別市の協力に関する協定調印
	5	・事務改善検討委員会設立				
	6	・北海道消防協会札幌地方支部消防総合演習			4	・野幌農協創立 50 周年
	7	・全国消防長会北海道支部警防・救急事務研究会				・岩田政勝氏名誉市民章贈呈される
	9	・災害支援車 801 号車を購入			8	・土佐市友好都市 20 周年記念式典
		・江別消防創設 100 年記念事業				・人口 12 万人突破
	10	・携帯電話分散受信方式 119 番受信運用開始			12	・江別市立病院新築
11	2	・高規格救急自動車 302 号車を購入				
	3	・高規格救急自動車 2 台目運用開始				
	4	・消防職員定数条例改正 125 名			4	・市長・市議選挙
		・機構改革、消防署の指導課を消防課に、警備課を救急救助課に改める				
		・北海道防災航空隊員派遣				
	6	・119 番通報訓練装置、防火管理者連絡協議会と危険物安全協会より寄贈される	7	・道立大麻高校火災	6	・江別市ホームページ開設
	8	・第 28 回消防救助技術訓練大会出場(横浜市)			8	・江別市総合防災訓練行われる
	10	・第 84 回全国消防長会法制委員会開催	9	・台風 18 号により 4,700 万円の被害		
	12	・水槽付消防ポンプ自動車 109 号車を更新				
12	2	・消防団豊幌分団庁舎新築移転			2	・豊幌地区センターオープン
		・江別市消防団に日本消防協会より表彰旗並びに表彰状を授与される				
	3	・有珠山噴火により北海道広域消防相互応援協定による応援隊派遣 述べ 62 隊 143 名			3	・資源物の分別収集開始
	4	・江別市消防職員定数条例改正 128 名			4	・介護保険制度スタート
		・消防本部に参事(防災担当)の職を設置				
		・高規格救急車移動配備開始				
	7	・北海道操法訓練大会出場(東野幌分団)				
		・江別市消防総合防災訓練				
	10	・小型動力ポンプ積載車 703 号車を江別出張所に更新配備			10	・野幌鉄南地区住民票等証明交付窓口開設
					12	・いきいきセンターわかくさオープン
						・保健センター若草町に移転

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江別市のできごと
平成 13	1	・消防力の基準(消防庁告示第1号により)改正	9		2	・J R 高砂駅新駅舎・歩道橋完成 ・5 農協が合併して道央農協誕生
	4	・江別市消防職員定数条例改正130 名			3	・江別市立学校給食センター完成 ・新ごみ処理施設建設工事着工
	9	・小型動力ポンプ積載車705号車を野幌出張所に更新配備			7	・江別市防災(水防)訓練行われる
					8	・北海道林木育種場旧庁舎が文化庁の登録有形文化財に登録される ・中央中学校男子バレーボール部全国大会優勝
					12	・J R 大塚駅バリアフリー化工事完成
					3	・「防災あんしんマップ」全世帯に配布
					4	・完全学校週5日制始まる
					10	・江別河川防災ステーションオープン
					12	・市環境クリーンセンター「くるりん」稼動
					4	・市長市議選挙
					5	・特別職等の専用車廃止による多用途車両(低公害車)導入
					8	・土佐市・江別市友好都市提携25周年式典 ・全国中学校体育大会水泳競技大会開催
14	6	・石狩川水防公開演習参加(長沼町)			3	・江別市中心市街地活性化基本計画策定
					4	・第5次江別市総合計画スタート
15	2	・高規格救急自動車305号車導入		9	9	・市制施行50周年記念式典
	9	・出光興産(株)北海道製油所ナフサタンク火災に伴う北海道広域消防相互応援協定による応援隊派遣 延べ3隊24名			10	・防災連携消防訓練実施(東野幌本町:パルタウンのつぼろシティハウス) ・家庭ごみ収集の有料化開始 ・「江別市のレンガ」が北海道遺産に選定
	10	・出光興産(株)北海道製油所災害予防対策支援活動に伴う、北海道広域消防相互応援協定による応援隊派遣延べ8隊40名				
16	11	・全国消防長会北海道支部予防委員会開催			3	・市制施行50周年記念事業の一環として、「新江別市史」刊行 ・「江別市地域福祉計画」策定 ・江別の顔づくり事業「都心地区整備基本計画」策定
	4	・メディカルコントロール体制構築により、救急救命士による包括的指示下での除細動開始			10	・防災連携消防訓練実施(大塚沢町サンゴールドビラ)
	8	・出光興産(株)北海道製油所ナフサタンク火災活動に対し、消防庁長官より防災功労者表彰を授与される				
17						
	4	・江別市他石狩管内の一部消防本部と基地の札幌手稲溪仁会病院間でドクターヘリ暫定共同運用開始				

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江別市のできごと
平成 17	12	・(財)日本消防協会の助成を受け、婦人防火クラブ等の民間防火組織の資器材整備の為、AED(自動体外式除細動器)一式を購入。	12	・市内野幌松並町に於いて、住宅1棟焼失、焼死者2名	11	・江別市に於いて道内初の「認知症高齢者向けグループホームの短期入所者事業利用特区」で構造改革特区に認定 ・江別市の地域再生計画『『ソーシャル・エンタープライズの拠点・メッカ』づくりを通じた地域活力コミュニティの再生』が地域再生法に基づき認定
18			1 2	・落雪事故多発 死者1名 ・救急・救助出動総数21件	3 9 10 12	・江別市行政改革大綱見直し ・市民活動センターオープン ・防災連携消防訓練実施(江別市コミュニティセンター周辺) ・江別市・新篠津村合併協議会設置
19					2 4 8 11	・江別市・新篠津村合併協議会開始 ・市長・市議選挙 ・広域消防水難連携訓練(江別河川防災ステーション前 千歳川) ・JR野幌駅鉄道高架工事着工 ・野幌駅周辺地区活性化協議会による「野幌駅周辺地区活性化計画(案)」作成
20	3 5 7 8 9 10 12	・「北海道消防広域化推進計画」が策定された ・第1回石狩管内5消防本部消防広域化等実務担当者会議開催(以降、2回開催) ・北海道洞爺湖サミット開催に伴う消防特別警戒要員派遣(予防2名・警防10名) ・第1回石狩管内5消防本部における消防広域化並びに消防指令業務等の共同化検討委員会開催(以降、4回開催) ・第1回石狩管内5消防本部消防指令業務等の共同化作業部会開催(以降、2回開催) ・第1回石狩管内5消防本部消防広域化作業部会開催(以降、5回開催) ・石狩北部地区消防事務組合消防本部と指令業務等の共同化検討会議開催(以降、4回開催) ・水槽付消防ポンプ自動車107号車を更新		・硫化水素ガスによる事故多発 死者2名・負傷者3名	8 9	・北海道防災総合訓練実施(江別高校跡地) ・江別市・新篠津村合併協議会廃止
21					2	・市内4大学、江別商工会議所、江別市が包括連携・協力に関する協定を締結

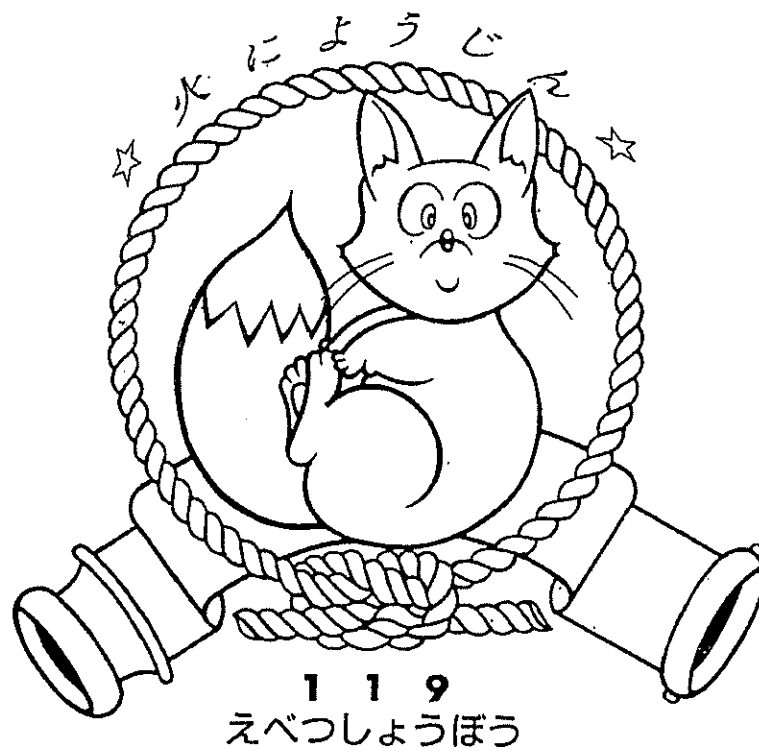
年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
平成 21	6	・高機能消防通信指令システム 実施設計委託	12	・角山建設資材置き場より出火、3 棟焼失	4	・「第5次江別市総合計画」後 期基本計画を策定
	8	・水槽付消防ポンプ自動車 103号車を更新 ・住宅用火災警報器設置推進本 部運用開始			7	・江別市自治基本条例スター ト
					9	・ねんりんピック将棋大会、江 別で開催 ・江別市防災連携訓練 (消防学校)
						・新型インフルエンザ流行 (A/H1N1 型)
	22 1	・災害対応特殊救急自動車 301号車を更新				
	2	・有限会社トンデンファームより AED (自動体外式除細動器) トレーニング用マネキン等を寄 贈される				
	5	・江別市環境整備事業組合より AED (自動体外式除細動器) 1台寄贈される				
	6	・高機能消防指令システム (II型) 整備工事契約締結			8	・常陸宮妃殿下ご臨席のもと、 第29回赤十字北海道大会開催
					9	・江別市防災訓練実施 (北翔大学)
	12	・有限会社丸山産業よりAED (自動体外式除細動器) 1台寄 贈される			10	・第19回国勢調査が行われ、 江別市において戦後初の人口 減少 ・鈴木章 北大名誉教授、ノー ベル化学賞受賞
	23 1	・有限会社トンデンファームより 連絡車として軽自動車1台寄 贈される				
	3	・東日本大震災発生により、緊急 消防援助隊北海道隊として救急 隊員2名、救助工作車1台と救 助隊員5名を宮城県石巻地区に 派遣 ・高機能消防指令システム運用 開始			2	・鈴木章 北大名誉教授へ江別 市特別栄誉賞贈呈
	4	・緊急消防援助隊北海道隊とし て救助工作車1台と救助隊員5 名を宮城県石巻地区に派遣			3	・東日本大震災発生により被災 地へ職員派遣、物的支援を 行う (～12月まで)
	6	・機構改革、消防本部に指令課を 新設し、警防課に救急高度化担 当(主幹及び主査)を配置 ・住宅用火災警報器完全義務化 スタート				・第三中学校統合により江北 中学校廃校

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と	
平成 23			8	・集中豪雨により萩ヶ岡床上浸水 1 戸、他市内道路冠水箇所多数 発生			
	10	・全国消防長会より東日本大震 災に際して緊急消防援助隊派遣 で表彰を受ける			10	・江別市防災連携訓練 (市立上江別小学校) ・野幌鉄道高架に伴い新野幌 駅開業	
	11	・総務大臣より東日本大震災に 際して緊急消防援助隊派遣で表 彰を受ける ・ J A 道央より高規格救急車 3 0 3 号車が寄贈される	12	・市内弥生町に於いて、住宅 1 棟 焼失、焼死者 1 名			
	24	7	・連絡車 6 0 6 号車を更新	9	・市内で自動販売機などへの放火 が相次ぐ	3	・中原通（鉄西線～鉄東線間） が開通 ・大麻 3 遺跡出土の土偶が道 指定有形文化財に指定
		11	・消防団東野幌分団を野幌若葉 町へ新築移転	12	・市内大麻中町にて異臭騒ぎ、 住民 6 6 名が避難	6	・ J R 野幌駅舎完成
					8	・江別出身の右代啓祐さん、ロ ンドンオリンピック（陸上競 技・男子十種競技）に日本代 表で出場、順位は 2 0 位	
					9	・江別市防災連携訓練 (北海道消防学校)	
	25			2	・大雪のため市内小中学校が臨時 休校		
		3	・有限会社トンデンファームより 屋形テント 3 張と音響設備一 式を寄贈される	3	・暴風雪により八幡地区で車両の スタックが続出	3	・ 6 丁目通に高砂地下歩道（鉄 西線～鉄東線間）が開通
		4	・江別出張所へ救急車が 2 4 時 間配備される ・機構改革、江別出張所に救急調 整担当（主査）を配置				
		5	・高規格救急自動車 3 0 2 号車 を江別出張所へ配置			7	・土佐市との友好都市提携 3 5 周年を迎える
				8	・市内野幌町にて共同住宅 1 棟部 分焼、死者 1 名	9	・江別市防災訓練（豊幌地区） ・江別市防災フェス（野幌地 区）
		10	・石狩振興局管内消防救急デジ タル無線の共同運用開始			11	・市内元野幌の一部が大麻泉 町へ町名変更
		12	・消防ポンプ自動車 2 0 3 号車 を更新			12	・ 9 丁目通に鉄道高架下道路 が開通

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と		
平成 26	1	・江別市消防出初め式を市役所前、及び市民会館で実施	3	・市内向ヶ丘にて住宅1棟全焼、死者1名				
	4	・江別市消防10か年アクションプラン策定			4	・第6次江別市総合計画の策定		
					7	・市政施行60周年		
					8	・江別市防災訓練（北海道消防学校）		
					9	・短時間での集中的な豪雨により浄水場の処理能力を超え市内の約3分の2が断水		
	10	・広報車605号車を更新 ・災害情報支援車604号車を更新			11	7・陸上十種競技アジア大会金メダルの右代啓祐選手が市民栄誉賞第一号に		
	12	・日本損害保険協会より小型動力ポンプ積載車701号車が寄贈される			12	・野幌駅北口駅前広場完成		
	27	1			・水槽付消防ポンプ自動車105号車を更新し、江別出張所に配置 ・水槽付消防ポンプ自動車109号車を消防署に配置			
	4	・機構改革、庶務課に人材育成担当（主査）、及び消防課に消防技術強化担当（主査）を配置						
	3	・総務省消防庁の消防団無償貸付事業により消防ポンプ自動車205号車を借受ける						
	6	・株式会社トンデンファームより消防団員訓練用ヘルメット200個が寄贈される ・夕張川総合水防訓練			7	・平和のつどい初開催 ・右代啓祐選手 日本選手権6連覇（陸上競技・男子十種競技）		
	10	・江別市消防団女性分団設立			8	・台風7号により新栄通アンダーパス冠水	10	・野幌駅前商業ビル完成
							11	・新栄団地B棟完成
	28	3			・救助工作車504号車を更新			
4	・機構改革、江別出張所と野幌出張所、及び大麻出張所に予防担当（主査）を配置			4	・江別第一小学校開校			
				8	・右代啓祐選手リオデジャネイロオリンピック出場			

年 号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
	10	・旭川ガスより子ども用防火服 20着が寄贈される				
	12	・日本消防協会より防災活動車 が寄贈される ・小型動力ポンプ積載車706号 車を配置				

防 火 シ ン ボ ル マ ー ク



昭和63年10月15日江別市消防本部の防火シンボルマークが制定されました。

これからは、僕も皆様方同様火災予防に努め市民のアイドルとして、親しまれるよう頑張りますのでよろしくお願いします。

